



取扱説明書[基本編]

WAVEMASTER®

WIRELESS IP PHONE VP-43

本製品は、弊社製VoIP対応無線ルータ
(SR-5200VoIP2など)とシステムで使用
することを前提とした製品です。



icom Inc.

ご使用になる前に

1

電話機の使いかた

2

簡易中継サーバを登録する

3

ご参考に

4



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、無線LANの[IEEE802.11/IEEE802.11b]規格に準拠したワイヤレスIP電話機です。

弊社製VoIP対応ルータの簡易中継サーバ機能を利用して、内線および外線通話ができます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

【重要】

本製品を商用IP電話業者の回線や公衆電話回線で使用する場合は、簡易中継サーバ機能搭載の弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2など)に接続することで発着信できます。

※本書で記載するSIPサーバは、弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2など)に搭載の簡易中継サーバへの接続を意味します。

【お知らせ】

無線LAN製品をご使用になるときは、下記のアドレスにアクセスしていただき、「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意」をご覧ください。

アドレス：http://wavemaster.icom.jp/html/security/security_wirelesslan.html

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、[®]icomは、アイコム株式会社の登録商標です。WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Adobe、Adobe Acrobatは、アドビシステムズ社の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のMiniWnnを使用しています。

MiniWnnは、オムロンソフトウェア株式会社が著作権を保有しています。

“MiniWnn”© OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 2000-2002 All Rights Reserved

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本製品の概要について

- ◎[IEEE802.11/IEEE802.11b]規格の無線LANに準拠したワイヤレスIP電話機です。
 - ◎WEP RC4[64(40)/128(104)ビット]暗号化方式に対応しています。
 - ◎暗号鍵(キー)の入力モードは、入力された桁数、または文字数に応じて16進数かASCIIを自動設定します。
 - ◎G.711、G.729aの音声コーデック搭載、ToS(Type of Service)、およびDiffServ(Differentiated Service)対応により、安定した音声品質で通話できます。
 - ◎簡易中継サーバ★に接続する本製品から、外線への発信や外線からの着信ができます。
 - ◎簡易中継サーバ★を使用しないで、本製品どうしが1対1(ピア ツー ピア)で内線通話できます。
 - ◎電話帳は、最大50件まで登録できます。
 - ◎不在、着信、発信の各履歴ごとに、最大30件まで登録されます。
 - ◎通話中の相手を保留、または転送できます。
 - ◎バッテリーパックは、リチウムイオン電池を採用しています。
 - ◎設定は、本製品を直接操作する方法と、本製品と同じ無線ネットワーク上に接続されたパソコンのWWWブラウザから、本製品の設定画面にアクセスする方法があります。
 - ◎本製品は、技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許は不要です。
- ★本書で記載の簡易中継サーバは、弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2など)に搭載の簡易中継サーバ機能を意味します。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

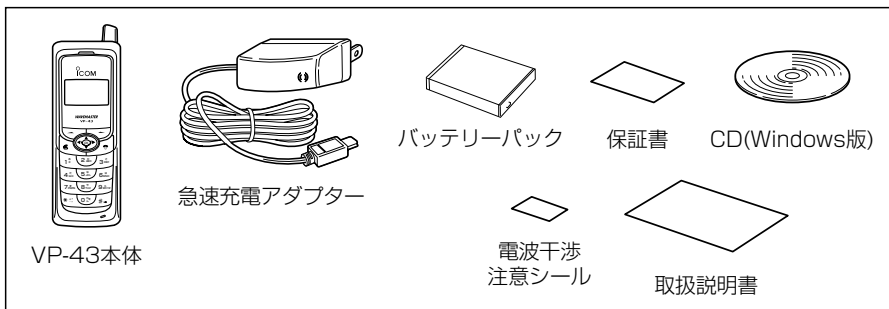
取扱説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

はじめに

標準構成品

■ 梱包内容の確認

本製品のパッケージには、次のものが同梱されています。
本製品をご使用になる前に、すべて揃っていることを確認してください。



別売品について

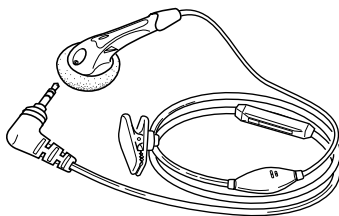
■ HM-156(イヤホンマイク)

本製品専用のイヤホンマイクです。(※4-2章)

本製品の[イヤホンマイク]ジャック(2.5φ)に接続して使用します。

接続しているときは、本製品の[通話]キー★に手をふれないで電話を受けられます。

★[通話]キーは、本書2ページで説明しています。



使用後はリサイクルへ

この機器は、充電式電池使用機器です。

希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

防水性能について (水をかけないでください。)

本製品は、防水構造ではありません。

電話機本体、急速充電アダプター、バッテリーパック、イヤホンマイク(別売品：HM-156)は、水につけないでください。

水ぬれによる故障の場合、保証対象外になり、修理をお受けできないことがあります。なお、修理をお受けできる場合でも、保証対象外のため有償修理になることをあらかじめご了承ください。

取り扱い上のご注意

◎家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、電波妨害を引き起こすことがあります。

このようなときは、本製品を、妨害を受けている機器からできるだけはなしてご使用ください。

◎本書の内容の一部または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

◎本書およびハードウェア、ソフトウェア、外観の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

無線LANの電波法についてのご注意

●本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の認証を受けています。

したがって、本製品の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

●本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。

本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。

したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。

また、その国の法令に抵触する場合があるので、使用できません。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。

心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。

●医療機器の近くで本製品を使用しないでください。

医療機器に電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。

●電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。

電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

●本製品の無線装置は、電波法に基づく認証を受けていますので、本製品の分解や改造をしないでください。

はじめに

2.4GHz無線LANの電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯の無線LANで通信を行うときは、次のことがらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための対処等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：アイコム株式会社

サービス窓口 06-6792-4949

(9:00～12:00、13:00～17:00)

■ 内蔵の2.4GHz帯(IEEE802.11/IEEE802.11b)無線LANカードについて

使用周波数帯域：2.4GHz帯を使用する無線設備

変調方式：DS-SS方式

想定干渉距離：40m以下

周波数変更可否：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

取扱説明書の構成について

本書では、本製品をご使用になる前に知っておいていただきたい内容や、本製品の使用方法と設定について説明しています。

本製品のWeb設定画面を使用して設定する場合は、本製品に付属のCDに収録されているWeb設定編と併せてご覧ください。

■ 基本編(本書)

本製品の操作方法や各種機能の設定、本製品を簡易中継サーバ(SR-5200VoIP2)に登録するための設定方法や、SR-5200VoIP2の設定例について説明しています。また、SR-5200VoIP2に搭載の簡易中継サーバを使用しない1対1(ピア ツー ピア)通話についても説明しています。

■ Web設定編(CD収録)

本製品のCDにPDF形式で収められています。本製品のWeb設定画面(4-5章)にある各設定項目について、説明しています。

- ① 本製品のCDをご使用のCDドライブに挿入すると、Auto Run機能が動作して、メニュー画面を表示します。
- ② <取扱説明書>をクリックします。

【お願い】

本製品のCDに収録された[Web設定編]をご覧いただくには、Acrobat® Reader® 4.0以上が必要です。ご使用のパソコンにインストールされていないかたは、<取扱説明書> ボタンをクリックする前に、<Adobe® Reader® インストール> ボタンをクリックして、表示される画面にしたがってインストールしたあと、<取扱説明書> ボタンをクリックしてください。



※上記のメニュー画面が表示されないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。

もくじ

はじめに	i
もくじ	vii
安全上のご注意(必ずお読みください。)	ix

第1章 ご使用になる前に ————— 1

1-1.各部の名称と機能	2
1-2.バッテリーパックについて	4
1-3.充電のしかた	5
1-4.ご使用になる場所について	6
1-5.無線通信距離について	6
1-6.「SIPプロキシ」と「ピア ツー ピア」について	6

第2章 電話機の使いかた ————— 7

2-1.電源の「ON」/「OFF」について	8
2-2.日付と時計の合わせかた	9
2-3.電話のかけかた/受けかた	13
2-4.音の設定を変更するには	15
2-5.通話履歴を使用して電話をかける	20
2-6.電話帳を使用する	21
2-7.転送機能を使用する	24
2-8.待ち受け画面の表示を変更する(バナー表示)	25
2-9.ロック機能について	26
2-10.メニューの構成と選択のしかた	28
2-11.文字入力のかた	29

第3章 簡易中継サーバを登録する ————— 31

3-1.簡易中継サーバ登録の流れ	32
3-2.「無線」メニュー	33
3-3.「ネット設定」メニュー	37
3-4.「SIP設定」メニュー	39
3-5.SR-5200VoIP2による構築と設定例	42

第4章 ご参考に ————— 47

4-1.こんな表示が出るときは	48
4-2.イヤホンマイク(別売品：HM-156)の使いかた	50
4-3.表示部を英語表示に切り替える	51
4-4.設定を工場出荷時の状態に戻す	52
4-5.Web設定画面へのアクセスについて	54
4-6.本製品を1対1(ピア ツー ピア)で使用するには	55
4-7.定格	56
4-8.故障のときは	57
4-9.バージョンアップについて	57

安全上のご注意

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

- ここに示した注意事項は、使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- 次の『△警告』『△注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

■本製品について

△ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎付属の急速充電アダプター以外を使用しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎付属の急速充電アダプター以外をDCジャックに接続しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎指定以外の付属品、および別売品は使用しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎ハンドストラップ(市販品)の端を持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。

人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。

◎イヤホンマイク(別売品)は、大きな音量で使用しないでください。

大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

◎航空機内や航空敷地内、新幹線車両内、病院内では、絶対に使用しないでください。

電波障害により、電子機器の誤動作、故障の原因になります。

◎ぬれた手で本製品を使用しないでください。

感電の原因になります。

◎水などでぬれやすい場所(洗面所やお風呂場など)で使用しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎分解や改造は、絶対にしないでください。

また、ご自分で修理しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用してください。

感電、けがの原因になります。

◎万一、煙が出ている、変なおいがする、変な音がする、水などが入った場合は、使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

すぐに、電源を切り、バッテリーパックを取りはずしてください。

煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社営業所サービス係に連絡してください。

■ 本製品について(つづき)

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎ぐらついた台の上や、傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落ちたりして火災、けが、故障の原因となることがあります。

◎上に乗ったり、重い物を載せたり、挟んだりしないでください。

故障の原因になることがあります。

◎結露するような場所で使用しないでください。

温度差の激しい環境を急に移動した場合、結露するおそれがありますのでご注意ください。

変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

結露した場合、乾燥させるか、長い間同じ環境に置いたあと、ご使用ください。

◎直射日光のあたる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所に放置しないでください。

変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

けが、故障の原因になることがあります。

◎湿気やホコリの多い場所での使用、または放置しないでください。

故障の原因になることがあります。

◎テレビやラジオの近くで使用しないでください。

電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎強い磁界や静電気の発生する場所、温度、湿度が取扱説明書に定めた使用環境を超えるところでは使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。

ケースが変質したり、塗料がはげる原因になることがあります。

普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

安全上のご注意

■ バッテリーパックについて(付属品)

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

- 指定以外の方法で充電しないでください。
- 本製品以外の機器などに使用しないでください。
- 火の中に投入したり、加熱しないでください。
- ハンダ付けしないでください。
- ネックレスなどの金属類といっしょに持ち運んだり、放置しないでください。
- バッテリーパックの端子間をショートしないでください。
- 火のそば、ストーブのそばや炎天下など高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
- 漏れ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。
失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれの原因になります。

- テープを巻きつけたり、加工しないでください。
バッテリーパックから、ガスが発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。
- バッテリーパックの上に工具などの金属や導電性のあるものを置いたり、落下させないでください。
- 水や海水につけたり、ぬらさないでください。

■ バッテリーパックについて(つづき)

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。

- 指定時間以上充電しないでください。
- +10～+40℃(温度)、20～85%(湿度)の範囲以外では充電しないでください。
- 高温の場所で使用、放置しないでください。
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 使用しないときは、必ず電源スイッチを切ってください。
- 長時間使用しないときは、バッテリーパックを取りはずし、-20℃～+35℃の湿気の少ない場所に保管してください。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。

ケースが変質したり、塗装がはげる原因になることがあります。

普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

■ 急速充電アダプターについて(付属品)

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。

- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。
- 指定以外の方法で充電しないでください。
- 本製品以外の機器などに使用しないでください。
- 付属の急速充電アダプター以外を使用しないでください。
- 付属のバッテリーパック以外を充電しないでください。
- 分解や改造をしないでください。また、ご自分で修理しないでください。

安全上のご注意

■急速充電アダプターについて(つづき)



警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

- 急速充電アダプターを水に入れたり、ぬらさないでください。
また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- 充電中に、ぬれた手で急速充電アダプターに絶対触れないでください。
- 電源コードの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
- 急速充電アダプターのDCプラグ部分に金属類を差し込まないでください。
- 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用してください。
- 急速充電アダプターは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- ACアダプターなどと、タコ足配線しないでください。
- 抜き差しするときは、必ずDCコネクタや急速充電アダプター本体を持ってください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- 電源コードが傷ついたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用しないでください。
すぐにACコンセントから急速充電アダプターを抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げ販売店、または弊社各営業所サービス係に連絡してください。



注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。

- 充電後や充電しないときは、ACコンセントから急速充電アダプターを抜いてください。
- +10～+40℃(温度)、20～85%(湿度)の範囲以外では充電しないでください。
- 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
- 抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。

ケースが変質したり、塗装がはげる原因になることがあります。

普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

この章では、
本製品をご使用になる前の準備などについて説明しています。

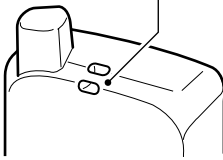
1-1.各部の名称と機能	2
■ 本体	2
■ 表示部	3
1-2.バッテリーパックについて	4
■ 取り付けかた	4
■ 取りはずしかた	4
1-3.充電のしかた	5
■ 充電警告表示について	5
■ 充電中の表示について	5
■ 充電完了の表示について	5
■ 充電時間と運用時間について	5
1-4.ご使用になる場所について	6
1-5.無線通信距離について	6
1-6.「SIPプロキシ」と「ピア ツー ピア」について	6

1 ご使用になる前に

1-1. 各部の名称と機能

■ 本体

ハンドストラップ取り付け穴



市販のハンドストラップを取り付けできます。

イヤホンマイクジャック

イヤホンマイク(別売品)を接続します。
(プラグ: 2.5φ)

アップ/ダウンキー

通話相手の音声や保留音の大きさを調整するとき使用します。

左側面部

メニューキー

各メニュー画面の表示に使用します。

通話キー

着信や発信に使用します。

マルチファンクションキー

メニュー機能や電話帳の検索画面をスクロールするとき使用します。

アスタリスクキー

文字入力などに使用します。

数字キー: [] 部分

電話番号や文字入力に使用します。

送話器(マイクロホン)

この部分に向かって通話します。

受話器(スピーカー)

この部分から相手の声が聞こえます。

アンテナ

電波を送受信します。
※手で覆ったりしないでください。

表示部

運用状態を表示します。

電話帳(戻る)キー

電話帳を表示します。
入力した電話番号を訂正するときを使用します。

<OK> ボタン

設定内容を登録します。
※操作中や充電中は、照明が点灯します。

電源/通話終了キー

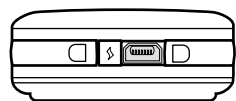
通話の終了や、本製品の電源を「ON」/「OFF」するとき使用します。
約2秒以上押すと、電源を「ON」/「OFF」できます。
入力中の番号や文字を訂正やその取り消しに使用します。

シャープ/ロックキー

文字入力に使用します。
ロック機能(※2-9章)で、キー操作のロックと解除に使用します。

DCジャック(充電専用)

付属の急速充電アダプターを接続すると、充電を開始します。(※1-2章)



※着信したときやキーを操作したときは、各キーやボタンの照明が自動点灯します。

■ 表示部

着信したときや、キーを操作すると、表示部の照明が点灯します。
操作を終了して、約10秒経過すると、消灯します。

時計表示

本製品の内部時計に設定された時間を表示します。

電波状況

受信している電波の強さ(目安)を、5段階で表示します。

- ▽_{||||} : 強
- ▽_{|||} : 中
- ▽_{||} : 弱
- ▽_| : 微弱

▽(点滅) : 無線アクセスポイントに接続できないとき

 キーの機能名称を、各設定操作ごとに表示します。

残量表示

電池の残量(目安)を4段階で表示します。

-  : 容量が十分あります。
-  : 容量が減少しています。
-  : 容量が少しあります。
-  : すぐに充電が必要です。

「設定」メニューの[バーナ表示]で設定された文字を表示します。

 キーの機能名称を、各設定操作ごとに表示します。

簡易中継サーバ登録状況 (ピア ツー ピア接続時を除く)

本製品と同じ電話番号、ユーザー名、パスワードが登録された簡易中継サーバと接続すると、「登録済み」を表示します。

※「未登録」表示のときは、使用できません。

本製品や簡易中継サーバ側の設定を確認してください。

●キーロックがロックされているときは、下記の表示になります。

キーロック(2-9章)を解除したとき、上記の表示に戻ります。

時計表示

本製品の内部時計に設定された時間を表示します。

簡易中継サーバ未登録表示

上記画面で「未登録」と表示されたとき、表示します。

IPアドレス取得状況

DHCPサーバからIPアドレスが取得できなかったとき、表示します。

ご参考に：「登録済み」と表示されていても？

本製品と接続された弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2)の簡易中継サーバ機能が「しない」に設定されているときは、「登録済み」を本製品の表示部に表示しますが使用できません。

「未登録」と表示されるのは、簡易中継サーバ機能が「する」に設定されているが、本製品と同じ電話番号、ユーザー名、パスワードが登録されていないときです。

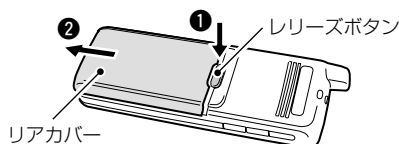
1 ご使用になる前に

1-2. バッテリーパックについて(お買い上げ時は、充電が必要です。)

■ 取り付けかた

急速充電アダプターを電話機本体に接続していないことを確認してください。

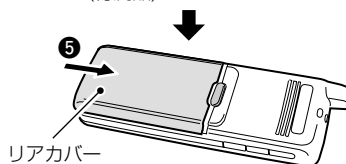
- ①リリースボタン[①]を押さえながら、リアカバー[②]を右図のようにスライドさせます。



- ②バッテリーパックに注意が記載された面を上向きにして、電話機の充電端子側[③]に押し当てながら、バッテリーパックを図[③→④]のように取り付けます。



- ③リアカバー[⑤]を右図のようにスライドさせながら押し込むと、リリースボタンでロックされます。



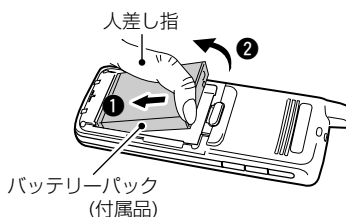
■ 取りはずしかた

電話機本体の電源が切れていることと、急速充電アダプターを電話機本体に接続していないことを確認してください。

- ①リアカバーをはずします。

※はずしかたは、「■ 取り付けかた」の手順①を参考にしてください。

- ②バッテリーパックの上面に人差し指を掛けて、右図の方向[①]にバッテリーパックを押し下げます。



- ③バッテリーパックを押し下げながら、右図[②]のように引き上げます。

△ 注意

バッテリーパックの取り付けや取りはずしの前に、必ずDCプラグを抜いてください。電話機本体に急速充電アダプター(※ 1-3章)のDCプラグを接続した状態で取り付けや取りはずしをすると、故障の原因になることがあります。

1-3. 充電のしかた

本製品に付属の急速充電アダプターと電話機本体を、右図のように接続します。

※DCジャックのふたをはずしてから接続してください。

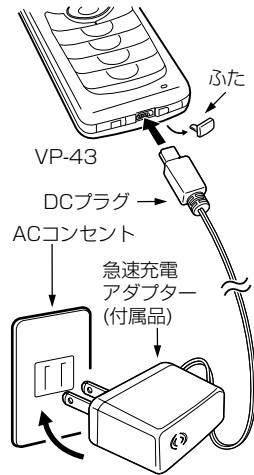
ふたは、なくさないようご注意ください。

※ほこりがDCジャックに入ると、接触不良などの原因になりますので、充電完了後は、必ずふたを元に戻してください。

△警告：接続について

[USB]ポート搭載の機器(パソコンなど)には、絶対接続しないでください。

接続すると、火災、感電、故障の原因になります。



■ 充電警告表示について

◎使用中、ほとんど容量がなくなると、[

◎容量がなくなると、自動的に電源が切れます。

■ 充電中の表示について

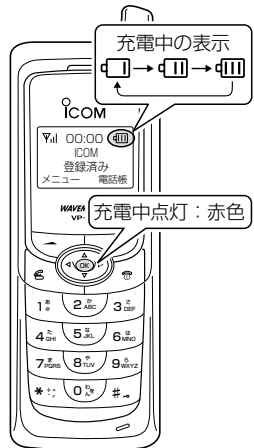
充電を開始すると、〈OK〉ボタンが赤色に点灯します。

※電話機の電源が入っている(待ち受けしている)場合は、[→→]を電話機の表示部に繰り返し表示します。

■ 充電完了の表示について

充電が完了に近づく、〈OK〉ボタンのランプが消灯し、さらに満充電に近づくまで、充電を継続します。

※電話機の電源が入っている(待ち受けしている)場合は、[]を電話機の表示部に表示します。



■ 充電時間と運用時間*について

◎充電時間**：約3時間(条件：電源OFF)

◎運用時間***：約3時間(連続通話)

約20時間(連続待ち受け)****

★ バッテリーパックの充電状態や機能設定状況(DTIM間隔)、ご利用場所の環境(温度/湿度)や電波状況(電波状況表示<電P3>の点滅状態)などにより、運用時間が短くなることがあります。

★★ 待ち受けしながら充電できますが、充電時間は長くなります。

★★★ 簡易中継サーバ(弊社製VoIP対応無線ルータ)でご使用時の運用時間です。

連続通話とは、電波状況表示が点滅(電P3)しない状態で通話したときを意味します。

★★★★ 無線アクセスポイントの[DTIM間隔]欄を「2」に設定している場合の時間です。

連続待ち受け時間とは、電波状況表示が点滅(電P3)しない範囲(無線伝送可能領域)で使用したときの目安です。

1 ご使用になる前に

1-4. ご使用になる場所について

以下のことを考慮してご使用ください。

ご使用になる場所によっては、通話エリアや音質に影響します。

- 電波は壁やガラスを通過しますが、金属は通過しません。
コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれていて、電波信号を遮断するものがあります。
- 通話エリアはオープンスペースだと最も広がりますが、倉庫の中のように大きな金属製の壁があると、電波を反射することがあります。
- 床にはふつう、鋼製の梁がはいっており、金属製防火材が埋め込まれていることがあります。
そのため多くの場合、違う階の相手とは通話できません。

1-5. 無線通信距離について

無線通信距離は、ご使用になる場所によって異なります。

本製品の無線通信距離は、室内で30m以内(見通し)、オープンスペースで約70m以内を目安にご使用ください。

1-6. 「SIPプロキシ」と「ピア ツー ピア」について

- ◎SIPプロキシ ……………
- 通話したい相手のIPアドレスをIP電話自身で管理しなくても発信できるようにするための仕組みです。
プロキシ★のIPアドレスをIP電話(本製品)に登録しておけば、発信できます。
ユーザーエージェント(UA)の代理として、相手にメッセージを受け渡す役目をします。
※本書では、3章で説明する内容に該当します。
★プロキシは、簡易中継サーバ機能が設定されたSR-5200VoIP2(弊社製)に該当します。
- ◎ピア ツー ピア ……………
- 相手が使用するIP電話(本製品)のURI(電話番号@ドメイン名)をIP電話自身で管理し、そのIP電話どうしが直接SIPの呼制御をする方式です。
ユーザーエージェント(UA)どうしの通信を意味します。
※本書では、4-6章で説明する内容に該当します。

この章では、

本製品を使用する場合の基本的な操作と設定について説明しています。

※この章の説明は、あらかじめ簡易中継サーバに登録(※3章)された本製品を使用しているものとします。

2-1.電源の「ON」/「OFF」について	8
■ 電源の入れかた：「ON」	8
■ 電源の切りかた：「OFF」	8
2-2.日付と時計の合わせかた	9
■ 日付と時計を手動で設定する	9
■ 時計を自動で設定する	11
2-3.電話のかけかた/受けかた	13
■ 電話のかけかた	13
■ 電話の受けかた	14
2-4.音の設定を変更するには	15
■ 着信音量を調整する	15
■ 着信音のパターンを選択する	16
■ 着信音のタイプを選択する	17
■ 着信を振動でお知らせ(バイブレーター機能)	18
■ 保留音のパターンを選択する	19
2-5.通話履歴を使用して電話をかける	20
2-6.電話帳を使用する	21
■ 電話帳に登録する	21
■ 電話帳を編集する	22
■ 電話帳を使用して電話をかける	23
2-7.転送機能を使用する	24
2-8.待ち受け画面の表示を変更する(バナー表示)	25
2-9.ロック機能について	26
■ ロック機能を手動で操作する	26
■ 自動ロック機能を設定する	26
2-10.メニューの構成と選択のしかた	28
2-11.文字入力のかた	29
■ 入力モードの切り替えかた	29
■ 記号入力対応表	29
■ 文字や数字の修正方法	29

2 電話機の使いかた

2-1. 電源の「ON」/「OFF」について

■ 電源の入れかた：「ON」

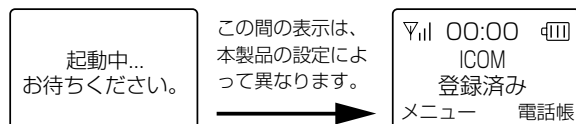
下記の操作をすると、電源が入ります。



キーを約2秒以上押します。

- 下記の待ち受け画面(右側)を表示します。

このとき、表示部の照明が約10秒間点灯します。



※「ネット設定」メニュー(☎3-3)の設定によって、待ち受け画面表示までに表示される内容が異なります。

※本製品と接続された弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2)の簡易中継サーバ機能が「しない」に設定されているときは、「登録済み」を本製品の表示部に表示しますが使用できません。

「未登録」と表示されるのは、簡易中継サーバ機能が「する」に設定されているが、本製品と同じ電話番号、ユーザー名、パスワードが登録されていないときです。本書4-6章の設定でご使用の場合は、この表示は機能しませんので、常に「未登録」を表示していても通話できます。



約2秒以上押す

■ 電源の切りかた：「OFF」

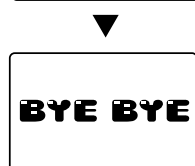
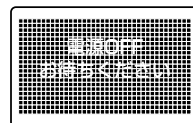
約2秒以上、 キーを押します。

電源が切れるまでの画面は、右の順番に表示します。

※電話帳やメニュー画面を表示しているときは、待ち受け画面に戻すまで、右記の操作ができません。



2秒以上押す



2-2. 日付と時計の合わせかた

本製品の内部時計を設定します。

日付と時刻の設定方法は、手動(RTC<リアルタイムクロック>)と自動(NTP<ネットワークタイムプロトコル>)のどちらかを選択できます。

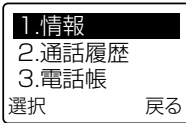
※内部時計を手動(RTC)で設定後は、電源を切っても本製品のバッテリーバックの電源で動作します。

再起動が必要な項目を変更したときは、待ち受け画面に戻したとき、本製品を自動的に再起動して、設定内容が反映されます。

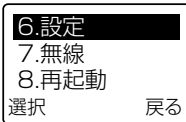
■ 日付と時計を手動で設定する

待ち受け画面から次の操作をすると、設定できます。

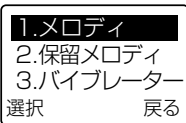
①  キーを短く押します。



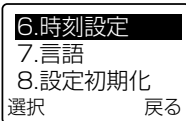
②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



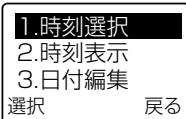
③  ボタンを短く押します。



④  キーの▲▼を押して、[時刻設定]を選択します。



⑤  ボタンを短く押します。

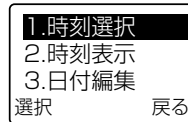


⑥ もう一回、 ボタンを短く押します。

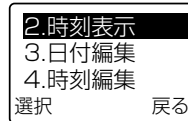
⑦  キーの▲▼を押して、「RTC」を選択します。 (例：RTC)



⑧  ボタンを短く押します。



⑨  キーの▲▼を押して、[時刻表示]を選択します。



⑩  ボタンを短く押します。

⑪  キーの▲▼を押します。

「12(H)/24H」時間制表示を選択します。 (例：24H)



次ページ
につづく

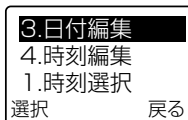
2 電話機の使いかた

2-2. 日付と時計の合わせかた

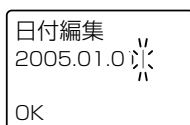
■ 日付と時計を手動で設定する(前ページ、操作のつづき)

12) **OK** ボタンを短く押します。

13) **◀▶** キーの **▲▼** を押して、[日付編集] を選択します。



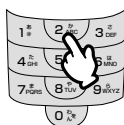
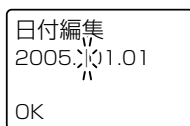
14) **OK** ボタンを短く押します。
● カーソルを点滅表示します。



15) **◀▶** キーの **◀▶** を押します。

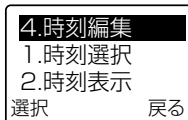
合わせたい数字の手前にカーソルを移動します。

16) 目的の日付を西暦で入力します。
(設定例：2005.01.01)



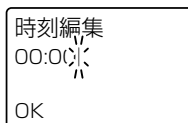
17) **OK** ボタンを短く押します。

18) **◀▶** キーの **▲▼** を押して、[時刻編集] を選択します。



19) **OK** ボタンを短く押します。

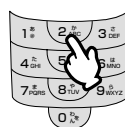
● カーソルを点滅表示します。



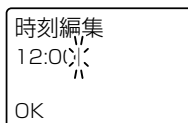
20) **◀▶** キーの **◀▶** を押します。

合わせたい数字の手前にカーソルを移動します。

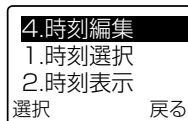
21) 目的の数字を押します。
入力は、[12(H)/24(H)] 時間制表示の設定 (手順 11) に関係なく、24時間制です。



(設定例：12：00)



22) **OK** ボタンを短く押します。
入力した時刻に設定されます。



23) **☰** キーを3回押します。

● 下記の表示に戻ります。



△ **注意** 内部時計を手動(RTC)で設定したときは、バッテリーバックの残量がないときや、バッテリーバックをはずした状態で、長期間使用しなかったときは、内部時計の設定が出荷時の状態に戻ることがあります。

■ 時計を自動で設定する

待ち受け画面から次の操作をすると、設定できます。

- ①  キーを短く押します。

1.情報
2.通話履歴
3.電話帳
選択 戻る

- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。

6.設定
7.無線
8.再起動
選択 戻る

- ③  ボタンを短く押します。

1.メロディ
2.保留メロディ
3.パイプレーター
選択 戻る

- ④  キーの▲▼を押して、[時刻設定]を選択します。

6.時刻設定
7.言語
8.設定初期化
選択 戻る

- ⑤  ボタンを短く押します。

1.時刻選択
2.時刻表示
3.日付編集
選択 戻る

- ⑥ もう一回、 ボタンを短く押します。

- ⑦  キーの▲▼を押して、「NTP」を選択します。 (例：NTP)

NTP
RTC ☒
選択 戻る

- ⑧  ボタンを短く押します。

- ⑨  キーの▲▼を押して、[時刻表示]を選択します。

2.時刻表示
3.タイムゾーン
4.NTPサーバ
選択 戻る

- ⑩  ボタンを短く押します。

- ⑪  キーの▲▼を押します。
「12(H)/24H」時間制表示を選択します。 (例：24H)

24H ☒
12H
選択 戻る

次ページ
につづく

△注意 内部時計を自動(NTP)に設定すると、本製品が弊社製VoIP対応無線ルータと無線通信したとき、本製品の内部時計を自動設定します。

時計が「00:00」と表示されたときは、自動設定に失敗しています。

弊社製VoIP対応無線ルータがインターネットに接続されていなかったり、NTPサーバへの問い合わせ経路が正しく設定されていないときは、問い合わせできません。

また、次ページの手順⑨をドメイン名で指定するときは、DNSサーバの設定が必要です。

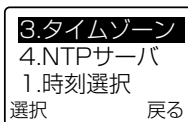
2 電話機の使いかた

2-2. 日付と時計の合わせかた

■ 時計を自動で設定する(前ページ、操作のつづき)

⑩  ボタンを短く押します。

⑪  キーの▲▼を押して、[タイムゾーン]を選択します。



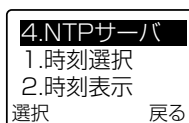
⑫  ボタンを短く押します。

⑬  キーの▲▼を押して、[GMT +9] (出荷時の設定)を確認します。
※タイムゾーンは、出荷時の設定でご利用ください。



⑭  ボタンを短く押します。

⑮  キーの▲▼を押して、[NTPサーバ]を選択します。



⑯  ボタンを短く押します。

- カーソルを点滅表示します。

⑰  キーの▲▼を押します。

- 文字入力モードが切り替わります。

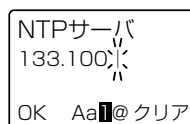


⑲  キーの◀▶を押します。

合わせたい数字の手前にカーソルを移動します。

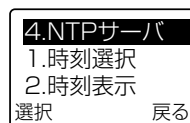
入力しなオすときは、 キーを押した回数だけ、数字が消去できます。

⑳ 問い合わせするNTPサーバのIPアドレスを入力します。(設定例：133.100.9.2)



㉑  ボタンを短く押します。

入力したIPアドレスに設定されます。



㉒  キーを3回押します。

- 下記の表示に戻ります。



2-3. 電話のかけかた/受けかた

※相手と通話するには、あらかじめ設定(※3章、または4-6章)が必要です。

■ 電話のかけかた

- ①相手の電話番号を入力します。

例：1234567890

入力しなおすときは、 キーを押した回数だけ、文字が消えてきます。

▽il 12:00 
1234567890
クリア

- ②  キーを短く押します。

●ダイヤルを開始します。

▽il 12:00 
電話番号：
1234567890
保留 転送

- ③通話が終了したら、 キーを短く押します。

●電話が切れます。



【リダイヤル：以前かけた相手にもう一度かけるには】

電話帳に相手の電話番号を「名前」で登録しているときは、以前かけた相手の電話番号が名前で表示されます。

※電源を切っても、最新の30件分を記憶しています。

- ①  キーを短く押します。

●相手の電話番号、または名前を表示します。

※発信履歴がないときは、機能しません。

1234567890
VP43
1234567890
選択 戻る

- ②  キーの▲▼を押します。

カーソルをリダイヤルする電話番号、または名前に移動します。

VP43
0123456789
9876543210
選択 戻る

- ③  キーを短く押します。

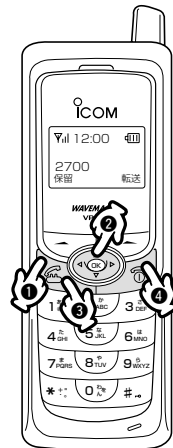
●ダイヤルを開始します。

- ④通話が終了したら、 キーを短く押します。

●電話が切れます。

▽il 12:00 
200
保留 転送

※そのほかにも、通話履歴(※2-5章)や電話帳(※2-6章)を使用して電話をかけられます。



2 電話機の使いかた

2-3. 電話のかけかた/受けかた(つづき)

■ 電話の受けかた

①着信音が鳴り、表示部とキーの照明が点滅します。

- 相手の電話番号または、電話帳に登録された名前を表示します。

▽ 12:00 
1234567890

②  キーを短く押します。

- 相手と電話がつながります。

▽ 12:00 
1234567890
1234567890
保留 転送

③通話が終了したら、 キーを短く押します。

【受話音量：相手の声の大きさを調整するには】

電話機側面の[アップ/ダウン]キーは、相手と通話中になると操作できます。

- [アップ]キーを短く押すごとに、受話音量が大きくなり、[ダウン]キーを短く押すごとに、受話音量が小さくなります。

※音量は、レベル1(最小)からレベル16(最大)まで、16段階で調整できます。

▽ 12:00 
01)
1234567890
保留 転送

〈最小音量〉

▽ 12:00 
16))))))))))
1234567890
保留 転送

〈最大音量〉

【通話中保留：相手と通話中に電話を保留するには】

①相手と通話中に  キーを短く押します。

- 相手との通話が保留されると、電話機から保留音が流れます。

②保留を解除するときは、 キーを押します。

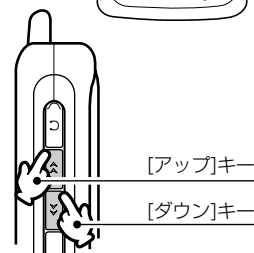
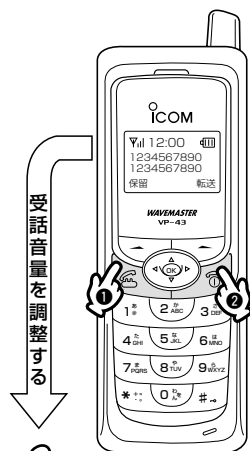
- 相手と通話できます。

※保留音の音量は、受話音量と併せて電話機側面の[アップ/ダウン]キーで調整できます。

※保留中に相手が電話を切ると、通話が切れます。

※保留音のパターンは、「保留音のパターンを選択する」(P19)の操作で設定できます。

※相手も保留しているときは、両者が保留を解除するまで、通話を再開できません。



※着信音の設定は、
2-4章をご覧ください。



2-4. 音の設定を変更するには

■ 着信音量を調整する

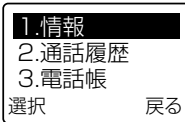
電話がかかってきたときの音量を設定します。

※出荷時は、「レベル 5」に設定されています。

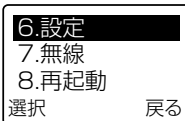
着信音は、「レベル 0(最小)～レベル 5(最大)」の6段階で調整できます。

待ち受け画面から次の操作をすると、調整できます。

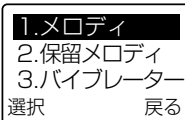
- ①  キーを短く押します。



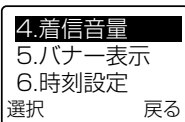
- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



- ③  ボタンを短く押します。

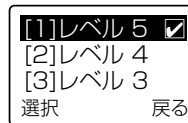


- ④  キーの▲▼を押して、[着信音量]を選択します。



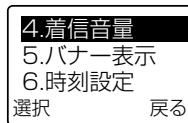
- ⑤  ボタンを短く押します。

- ⑥  キーの▲▼を押して、着信音量のレベルを選択します。



(例：レベル 5)

- ⑦  ボタンを短く押します。
選択したレベルに設定されます。



- ⑧  キーを2回押します。
●再起動後、下記の表示に戻ります。



2 電話機の使いかた

2-4. 音の設定を変更するには(つづき)

■ 着信音のパターンを選択する

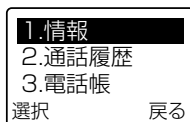
着信音のパターンを7種類の中から選択できます。

※出荷時は、「デフォルト」(ブザー音)に設定されています。

着信音のパターンは、「メロディ1～6」、「デフォルト」から選択できます。

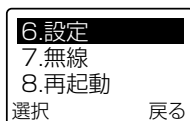
待ち受け画面から次の操作をすると、選択できます。

- ①  キーを短く押します。

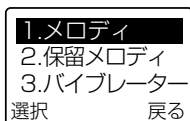


- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を

選択します。



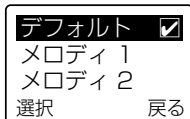
- ③  ボタンを短く押します。



- ④ もう1回、 ボタンを短く押します。

- ⑤  キーの▲▼を押して、着信音

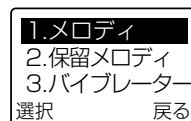
のパターンを選択します。



(例：デフォルト)

- ⑥  ボタンを短く押します。

選択した着信音のパターンに設定されます。



- ⑦  キーを2回押します。

- 下記の表示に戻ります。



■ 着信音のタイプを選択する

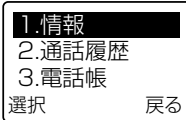
着信音が鳴ったとき、本書2-4章で設定された着信音量のレベルまで段階的に大きくなるように設定できます。

※出荷時は、「一定」に設定されています。

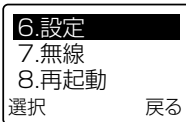
着信音量は、「一定」、「小→大」から選択できます。

待ち受け画面から次の操作をすると、設定できます。

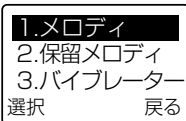
- ①  キーを短く押します。



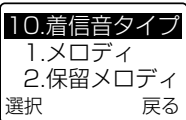
- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



- ③  ボタンを短く押します。

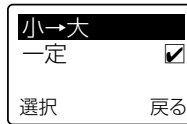


- ④  キーの▲▼を押して、[着信音タイプ]を選択します。



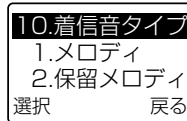
- ⑤  ボタンを短く押します。

- ⑥  キーの▲▼を押して、着信音のタイプを選択します。



(例：小→大)

- ⑦  ボタンを短く押します。
選択した着信音のタイプに設定されます。



- ⑧  キーを2回押します。
●下記の表示に戻ります。



ご参考に：着信音量を変化(小→大)する設定した場合、「着信音量を調整する」(P15)で設定されているレベル以上の音量にはなりません。

2 電話機の使いかた

2-4. 音の設定を変更するには(つづき)

■ 着信を振動でお知らせ(バイブレーター機能)

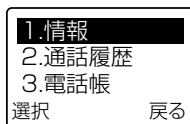
電話がかかってきたとき、着信音と振動でお知らせするように設定できます。

※出荷時は、「オフ」に設定されています。

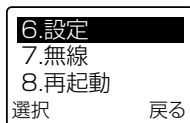
※振動だけに設定するときは、着信音量を「レベル0」に設定してください。

待ち受け画面から次の操作をすると、設定できます。

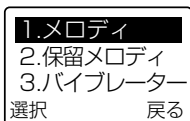
- ①  キーを短く押します。



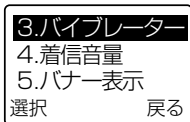
- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



- ③  ボタンを短く押します。

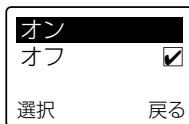


- ④  キーの▲▼を押して、[バイブレーター]を選択します。

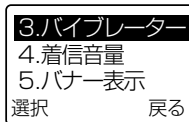


- ⑤  ボタンを押します。

- ⑥  キーの▲▼を押して、「オン」を選択します。 (例：オン)



- ⑦  ボタンを短く押します。
バイブレーター機能が設定されます。



- ⑧  キーを2回押します。
● 下記の表示に戻ります。



■ 保留音のパターンを選択する

保留音のパターンを7種類の中から選択できます。

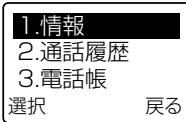
※出荷時は、「デフォルト」に設定されています。

保留音のパターンは、「メロディ1～6」、「デフォルト」から選択できます。

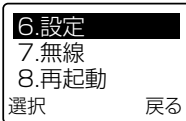
※保留音の音量は、受話音量と併せて電話機側面の[アップ/ダウン]キーで調整できます。

待ち受け画面から次の操作をすると、選択できます。

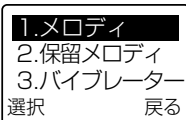
- ①  キーを短く押します。



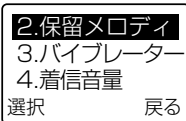
- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



- ③  ボタンを短く押します。



- ④  キーの▲▼を押して、[保留メロディ]を選択します。

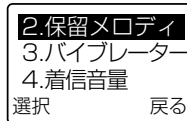


- ⑤  ボタンを短く押します。

- ⑥  キーの▲▼を押して、保留音のタイプを選択します。



- ⑦  ボタンを短く押します。
選択した保留音のパターンに設定されます。



- ⑧  キーを2回押します。
● 下記の表示に戻ります。



2 電話機の使いかた

2-5. 通話履歴を使用して電話をかける

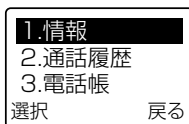
電話をかけたり、受けたりしたりした相手(☞2-3章)は、本製品の通話履歴に登録します。

※通話履歴は、不在、着信、発信について、別々に30件分を記憶できます。

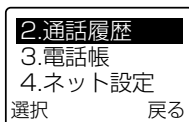
※ピアツーピア接続(☞4-6章)で使用する場合は、通話相手を互いの電話帳に登録(☞2-6章)するまで通話履歴を使用して電話をかけることはできません。

待ち受け画面から次の操作をすると、通話履歴から電話をかけられます。

- ①  キーを短く押します。

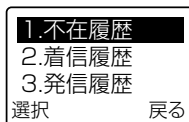


- ②  キーの▲▼を押して、[通話履歴]を選択します。



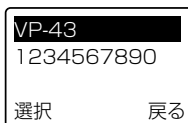
- ③  ボタンを短く押します。

- ④  キーの▲▼を押して、目的の履歴(不在、着信、発信)を選択します。



- ⑤  ボタンを短く押します。

- ⑥  キーの▲▼を押して、相手の電話番号、または名前を選択します。



- ⑦  キーを短く押します。

- ダイヤルを開始します。



- ⑧通話が終了したら、 キーを押します。

- 電話が切れます。



左の記号は、手順⑤の操作をしたとき、履歴に登録されていない、または履歴が削除されてることを意味する表示です。

【通話履歴の削除：不在履歴、発信履歴、着信履歴、全履歴の削除方法】

手順④の操作で、[通話履歴削除]を選択して表示される画面から、削除する履歴を選択できます。

選択して、 ボタンを短く押すと、その履歴を削除してよいかをたずねる画面が表示されます。

削除するときは、 ボタンを短く押します。

※手順⑥の操作で、 ボタンを短く押すと、選択した履歴の削除および編集ができます。

2-6. 電話帳を使用する

■ 電話帳に登録する

相手の電話番号を本製品の電話帳に登録する手順について説明します。

※登録した相手から電話があると、表示部に登録した名前を表示します。

※最大50件分を、電話帳に登録できます。

※ピアツーピア接続(※4-6章)で使用する場合は、通話相手を互いの電話帳に登録(※2-6章)するまで電話をかけることはできません。

待ち受け画面から次の操作をすると、登録できます。

- ①  キーを短く押します。

1.情報
2.通話履歴
3.電話帳
選択 戻る

- ②  キーの▼▲を押して、[電話帳]を選択します。

3.電話帳
4.ネット設定
5.SIP設定
選択 戻る

- ③  ボタンを短く押します。

- ④  キーの▼を押して、[電話帳追加]を選択します。

2.電話帳追加
3.電話帳削除
1.電話帳検索
選択 戻る

- ⑤  ボタンを短く押します。

- ⑥ 登録する相手の名前を入力(※2-11章)します。 (例：VP-43)

名前：
VP-43
OK  Aa1@ 戻る

- ⑦  ボタンを短く押します。

- ⑧ 相手の電話番号を入力します。

電話番号:
200
OK Aa1@ 戻る

(例：200)

- ⑨  ボタンを短く押します。

- ⑩ 本書3章の設定★でご使用の場合は、何も入力しないで、次に進みます。
本書4-6章の設定★でご使用の場合は、通話相手のIPアドレス(※P38)を入力します。

IPアドレス:
OK Aa1@ 戻る

★違いについての説明は、本書1-6章をご覧ください。

- ⑪  ボタンを短く押します。
電話帳に登録されます。

2.電話帳追加
3.電話帳削除
1.電話帳検索
選択 戻る

- ⑫  キーを2回押します。

- 下記の表示に戻ります。

▽ 12:00 ◀▶
ICOM
登録済み
メニュー 電話帳

2 電話機の使いかた

2-6. 電話帳を使用する(つづき)

■ 電話帳を編集する

電話帳に登録された内容を編集する手順について説明します。

待ち受け画面から次の操作をすると、編集できます。

①  キーを短く押します。

- 登録された相手の電話番号、または名前を表示します。

②  キーの▲▼を押して、電話帳を編集する相手を選択します。

(例：VP-43)

VP-43	
ICOM	
選択	戻る

③  ボタンを短く押します。

1.編集	
2.削除	
選択	戻る

④もう1回、 ボタンを短く押します。

⑤内容を編集します。

名前：	
VP-43	
OK	 Aa1@ 戻る

⑥  ボタンを短く押します。

⑦内容を編集します。

電話番号：	
200	
OK	 Aa1@ 戻る

⑧  ボタンを短く押します。

⑨本書3章の設定★でご使用の場合は、何も入力しないで、次に進みます。
本書4-6章の設定★でご使用の場合は、登録されている通話相手のIPアドレス(☎P38)を表示しますので、必要に応じて編集します。

IPアドレス：	
OK	Aa1@ 戻る

★設定の違いについての説明は、本書1-6章をご覧ください。

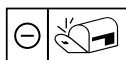
⑩  ボタンを短く押します。

1.電話帳検索	
2.電話帳追加	
3.電話帳削除	
選択	戻る

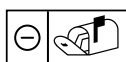
⑪  キーを2回押します。

- 下記の表示に戻ります。

▽ 12:00 ◀▶	
ICOM	
登録済み	
メニュー	電話帳



左の記号は、手順①の操作をしたとき、電話帳に登録されていないときの表示です。



左の記号は、前ページで登録している電話帳に、同じ名前で電話番号が登録済みの表示です。

■ 電話帳を使用して電話をかける

電話帳に登録している相手に電話をかける手順を説明します。

待ち受け画面から次の操作をすると、電話をかけられます。

①  キーを短く押します。

- 登録された相手の電話番号、または名前を表示します。

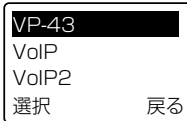


③  キーを短く押します。

- ダイヤルを開始します。

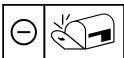


②  キーの▲▼を押して、電話をかける相手を選択します。



④通話が終了したら、 キーを押します。

- 電話が切れます。



左の記号は、手順①の操作をしたとき、電話帳に登録されていないことを意味する表示です。

【登録の編集と削除：電話帳に登録した内容を編集または削除する方法】

手順①の操作で、編集または削除する相手の電話番号、または名前を選択します。

選択した状態で、 キーを短く押して表示される画面にしたがって操作します。

Ⓚ ボタンを最後に短く押します。

2 電話機の使いかた

2-7. 転送機能を使用する

相手からの電話を転送する手順を説明します。

※本製品と通話するすべての相手が本製品を使用しているものとして説明します。

相手と通話中、待ち受け画面から次の操作をすると、別の相手に転送できます。

- ①電話をかけた相手と通話中、 キーを短く押します。

- 通話中の相手が保留され、転送先の電話番号を入力する画面を表示します。

転送先：	
取消	クリア

- ②転送する相手の電話番号を入力します。(例：300)

- 入力した番号を表示します。

転送先： 300	
取消	クリア

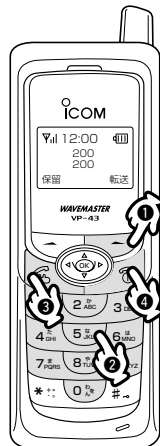
- ③ キーを短く押します。

- ダイヤルを開始します。

▽ 12:00 	
電話番号： 300	
取消	転送

- ④転送することを相手に伝えてから、 キーを短く押します。

- 電話が切れ、手順①で保留している相手と、手順③で転送した相手が通話できます。



【転送取り消し/転送先の変更】

- ①転送先の相手と通話中(このとき、最初の通話相手は保留されている)に、 キー(取消)を繰り返して短く2回押します。

- 保留音が流れます。

▽ 12:00 	
100 100	
保留	転送

- ②元の相手と通話を再開するとき、 キーを短く押します。

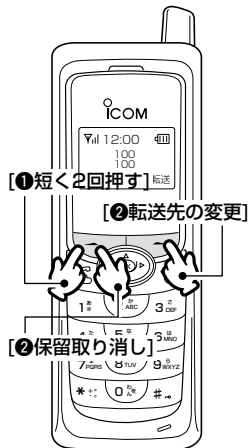
- 元の相手と通話できます。

転送先を変更するとき、保留音が流れている状態で、 キーを短く押し、転送先の電話番号を入力します。

-  キーを短く押します。

▽ 12:00 	
電話番号： 300	
取消	転送

転送先： 200	
取消	クリア



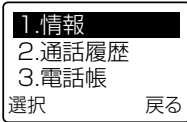
2-8. 待ち受け画面の表示を変更する(バナー表示)

待ち受けのとき、画面に表示される文字(バナー)を変更できます。

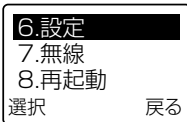
※出荷時は、「ICOM」に設定されています。

待ち受け画面から次の操作をすると、設定できます。

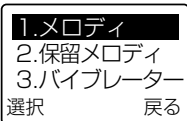
- ①  キーを短く押します。



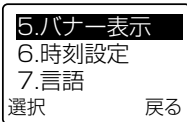
- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



- ③  ボタンを短く押します。



- ④  キーの▲▼を押して、[バナー表示]を選択します。

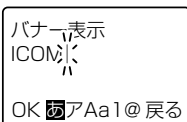


- ⑤  ボタンを短く押します。

●カーソルを点滅表示します。

- ⑥  キーの▲▼を押します。

●文字入力モードが切り替わります。

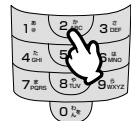


- ⑦  キーの◀▶を押します。

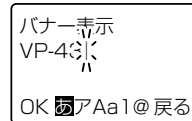
変更したい文字の手前にカーソルを移動します。

入力しなおすときは、 キーを押した回数だけ、文字が消去できます。

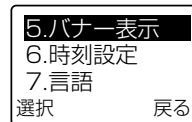
- ⑧ バナー表示する文字を入力します。



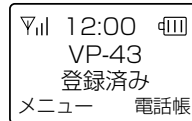
(設定例：VP-43)



- ⑨  ボタンを短く押します。
入力した文字が設定されます。



- ⑩  キーを2回押します。
●下記の表示に戻ります。



2 電話機の使いかた

2-9. ロック機能について

不用意に電話機本体にふれても、キーを操作できないように設定できます。

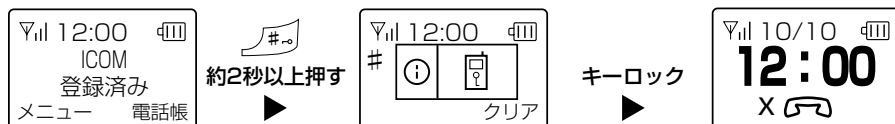
本製品のロック機能は、手動操作と自動設定のどちらかを選択できます。

※ロックしているときは、キーとキーの長押し以外は、操作できません。

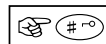
※ロック中に着信したときは、キーを短く押すだけで、電話を受けられます。

■ ロック機能を手動で操作する

待ち受け画面から、下記中央の表示になるまで、キーを押しつづけます。



※操作したとき、キーがロックされていると、右の記号を表示します。



※解除するときは、右の記号を表示するまで、キーを押します。



※本製品の電源投入したとき、または通話中、Web設定画面(☞4-5章)で〈再起動〉ボタンをクリックしたときは、ロック機能が自動的に解除されます。

■ 自動ロック機能を設定する

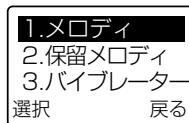
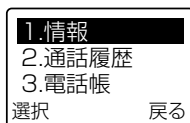
キーロックを手動で解除しても、約1分以上操作しない状態になると、自動的にキーロックできる機能です。

※出荷時、自動ロック機能を「オフ」に設定しています。

待ち受け画面から次の操作をすると、自動ロック機能を設定できます。

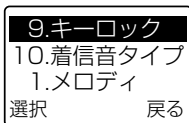
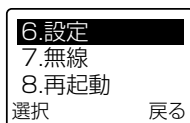
① キーを短く押します。

③ ボタンを短く押します。



② キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。

④ キーの▲▼を押して、[キーロック]を選択します。



☞次ページ
につづく

■ 自動ロック機能を設定する(前ページ、操作のつづき)

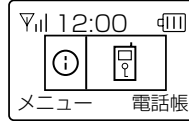
⑤  ボタンを短く押します。

⑨ 約1分以上操作しない状態にします。

⑥  キーの▲▼を押して、「オン」を選択します。

自動ロック機能が動作します。

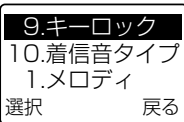
●「キーロック」と表示します。



⑦  ボタンを短く押します。
ロック機能が設定されます。

⑩ ロックされたことを確認します。

●下記の画面を表示します。



⑧  キーを2回押します。
●下記の表示に戻ります。

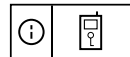


【キーロックを一時的に解除するには】

上記の画面(手順⑩)で、右の記号を表示するまで  キーを押します。



※解除後、ふたたび約1分以上操作しない状態になると、自動的に右の記号を表示してキーをロックします。



※解除後、メニュー画面や電話帳を表示、またはキーやボタンを操作しているときは、待ち受け画面に戻るまで自動ロック機能は動作しません。

※自動的にロックされるまでに、 キーを操作をしたときは、手でキーロックできます。

※本製品の電源投入したとき、または通話中、Web設定画面(※4-5章)で〈再起動〉ボタンをクリックしたときは、キーロックが一時的に解除され、ふたたび約1分以上操作しない状態になると、キーがロックされます。

2 電話機の使いかた

2-10. メニューの構成と選択のしかた

電話機の表示部に表示されるメニューの構成と選択のしかたを説明します。

①待ち受け画面が表示された状態で、

 キーを短く押します。

②  キーの▲▼を押します。

目的のメニューを選択します。

③  ボタンを短く押します。

● 選択できる設定項目を表示します。

④  キーの▲▼を押します。

目的の設定項目を選択します。

 は、電話機本体のメニューを示します。



★1：日本語(出荷時の設定)でのご使用をおすすめします。

★2：WEPが設定されているとき表示します。



この章では、

簡易中継サーバ機能搭載の弊社製VoIP対応無線ルータを本製品に登録するための設定について説明します。

本章のはじめから順に設定すると、登録できます。

簡易中継サーバ側の設定例については、3-5章をご覧ください。

3-1.簡易中継サーバ登録の流れ	32
3-2.「無線」メニュー	33
3-2-1.SSIDを自動検出する(APスキャン)	33
3-2-2.通信モードについて	34
3-2-3.無線チャンネルについて	34
3-2-4.暗号化を設定する(WEP選択)	35
3-3.「ネット設定」メニュー	37
3-4.「SIP設定」メニュー	39
3-4-1.SIPサーバの設定	39
3-4-2.ユーザーIDの設定	40
3-5.SR-5200VoIP2による構築と設定例	42

3 簡易中継サーバを登録する

3-1. 簡易中継サーバ登録の流れ

本製品を簡易中継サーバ機能搭載の弊社製VoIP対応無線ルータに登録するために、必要な設定の流れを説明します。

※下記の概要と手順にしたがって設定すると、簡易中継サーバを本製品に登録できます。

※下記のStep1.～Step4.について、あらかじめ、本章で設定している場合は、相手と通話できます。

※下記のStep5.については、設定しない場合も通話できますので、必要に応じて設定してください。

Step1.無線LANの設定：「無線」メニュー(☞3-2章)

弊社製VoIP対応無線ルータの無線LAN設定(SSIDや暗号化)を本製品に登録します。

この設定をするまで、本製品と弊社製VoIP対応無線ルータは無線通信できません。

本製品は、利用環境内で接続できる無線アクセスポイントを自動検出するAPスキャン機能を搭載しています。

※本製品を1台の弊社製VoIP対応無線ルータに収容できる推奨台数は、6台までです。

Step2.ネットワーク接続設定：「ネット設定」メニュー(☞3-3章)

弊社製VoIP対応無線ルータに接続するためのIPアドレスを本製品に設定します。

使用するIPアドレスをネットワーク管理者から指定されている場合は、モードを「固定IP」にして、そのアドレスを設定します。

特に指定がないときは、DHCPサーバから本製品のIPアドレスを自動取得するモード(DHCP)に設定してください。

Step3.SIPサーバの設定：「SIP設定」メニュー(☞3-4-1章)

本製品と無線で通信する簡易中継サーバ(SIPサーバ)のLAN側[IPアドレス]、[ポート番号]、[有効期限]について、本製品の「SIP設定」メニューにある[SIPサーバ]で設定します。

Step4.ユーザーIDの設定：「SIP設定」メニュー(☞3-4-2章)

簡易中継サーバ(弊社製VoIP対応無線ルータ)の[子機内線設定]項目に設定された[内線番号]と[パスワード]を、本製品の[電話番号]と[パスワード]として同じ内容に設定する手順について、本製品の「SIP設定」メニューにある[ユーザーID]で設定します。

※本製品の[ユーザー名]は、簡易中継サーバで[パスワード]が設定されている場合だけ、本製品に設定する[電話番号]と同じ内容に設定します。

※簡易中継サーバの[子機内線設定]項目にある[名前]欄は、本製品の[ユーザー名]と異なる設定にしても使用できます。

Step5.電話帳の登録：「電話帳」メニュー(☞2-6章)

相手の電話番号に対する名前を併せて登録しておくと、その電話番号の相手から電話がかかってきたとき、登録した名前を本製品の表示部に表示します。

よくかける相手は、電話帳や通話履歴(☞2-5章)を利用すると、簡単にダイヤルできます。

※自分の電話番号は、登録できません。

3-2.「無線」メニュー

無線LANを構築するために、本製品の「無線」メニューから、弊社製VoIP対応無線ルータなど(無線アクセスポイント)への無線LAN接続を設定します。

※設定完了後、待ち受け画面に戻すと、本製品を自動的に再起動して、設定内容が反映されます。

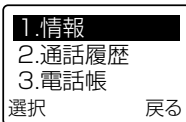
3-2-1. SSIDを自動検出する(APスキャン)

無線アクセスポイントにアクセスする本製品が1つのネットワーク内で通信するには、無線アクセスポイントと[SSID(無線ネットワークの識別名)]を同じに設定します。

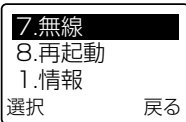
本製品は、無線伝送エリア内で接続できる無線アクセスポイントに設定された[SSID]を自動検出できるAPスキャン機能を搭載しています。

待ち受け画面から次の操作をすると、SSIDを自動検出できます。

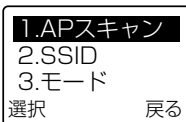
- ①  キーを短く押します。



- ②  キーの▲▼を押して、「無線」を選択します。

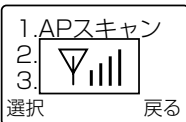


- ③  ボタンを短く押します。



- ④  ボタンを短く押します。

- 検出中は、下記の画面を表示します。

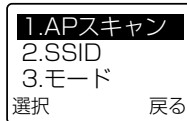


- ⑤  キーの▲▼を押します。

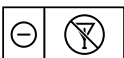
本製品と接続する無線アクセスポイントの[SSID]にカーソルを合わせます。



- ⑥  ボタンを短く押します。
選択した[SSID]に設定されます。



- ⑦ 待ち受け画面に戻さないで、暗号化を設定(3-2-4.)します。



左の記号は、手順④の操作をしたとき、本製品の無線伝送エリア内に無線アクセスポイントが存在しない、または検出できないときの表示です。

3 簡易中継サーバを登録する

3-2. 「無線」メニュー(つづき)

3-2-2. 通信モードについて

本製品は、「インフラ」以外のモードでは使用できませんので、通信モードの設定は、必要ありません。

※「無線」メニューの[モード]で、設定を確認できます。

※「インフラ」とは、無線LANの通信形態のことで、「インフラストラクチャ」モードを意味します。

本製品が弊社製VoIP対応無線ルータ(簡易中継サーバ)などに搭載の無線アクセスポイントと無線通信できます。

3-2-3. 無線チャンネルについて

本製品の電源を入れると、「SSIDの自動検出」( 3-2-1.)で指定した無線アクセスポイント(弊社製VoIP対応無線ルータなど)に設定されたチャンネルを自動検出しますので、無線チャンネルの設定は、必要はありません。

3-2-4. 暗号化を設定する(WEP選択)

WEP(Wired Equivalent Privacy)を設定することで、第三者からの無線電波を傍受されたり、無線ネットワークへの不正侵入がされにくくなります。

※WEPによる暗号化通信は、本製品と無線アクセスポイントとのあいだで、暗号鍵(キー)の長さ、鍵(キー)の内容を同じ設定にしてください。

※暗号鍵(キー)の長さは、64bit/128bitの中から選択できます。

64bitを選択したときは、16進数で10桁(ASCII:5文字)、128bitを選択したときは、16進数で26桁(ASCII:13文字)の鍵を入力してください。

※暗号鍵(キー)は、最大4つまで指定できますが、それぞれの鍵を設定するときは、16進数またはASCII文字で、1つずつ手入力してください。

SSID(※3-2-1.)の設定に続けて、次の操作をします。

- ①  キーの▲▼を押して、[WEP選択]を選択します。



- ②  ボタンを短く押します。

- ③  キーの▲▼を押します。

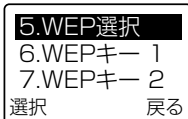
無線アクセスポイントと同じ鍵(キー)の長さ(64bit/128bit)を選択します。

(例: 64bit)



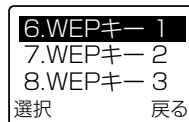
- ④  ボタンを短く押します。

選択した長さの鍵が設定されます。



- ⑤  キーの▲▼を押します。

暗号鍵(キー)を入力する[キー番号]を選択します。 (例: WEPキー 1)

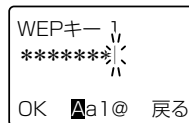


- ⑥  ボタンを短く押します。

●カーソルを点滅表示します。

- ⑦  キーの▲▼を押します。

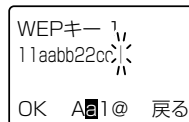
●文字入力モードが切り替わります。



- ⑧ 暗号鍵(キー)を入力します。

入力を開始すると初期値は消えます。

(16進数の設定例: 11aabb22cc)



入力中の訂正は、 キーを押した回数だけ、英数字を消去できます。

※次ページにつづく

3 簡易中継サーバを登録する

3-2. 「無線」メニュー

3-2-4. 暗号化を設定する(WEP選択)つづき

- ⑨  ボタンを短く押します。

選択した暗号鍵(キー)が設定されます。

6.WEPキー 1	
7.WEPキー 2	
8.WEPキー 3	
選択	戻る

- ⑩ 暗号化鍵(キー)(例：WEPキー 2～WEPキー 4)の設定が、残りの[キー番号]にも必要な場合は、手順⑤～⑨の操作を繰り返して入力します。

- ⑪  キーの▲▼を押して、[キー選択]を選択します。

10.キー選択	
1.APスキャン	
2.SSID	
選択	戻る

- ⑫  ボタンを短く押します。

- ⑬  キーの▲▼を押します。

送信データの暗号化に使用される暗号鍵(キー)の[キーインデックス]を選択します。

無線アクセスポイントと同じ番号を選択します。

キー 1	☒
キー 2	
キー 3	
選択	戻る

- ⑭  ボタンを短く押します。
選択した番号が設定されます。

10.キー選択	
1.APスキャン	
2.SSID	
選択	戻る

- ⑮  キーを2回押します。
●再起動後、下記の表示に戻ります。

📶 12:00 📶	
ICOM	
登録済み	
メニュー	電話帳

3-3.「ネット設定」メニュー

本製品をネットワークに接続するには、「固定IP」と「DHCP」の接続方法があります。

簡易中継サーバ(弊社製VoIP対応無線ルータ)のIPアドレスをネットワーク管理者から指定されている場合は「固定IP」で接続し、それ以外の場合は、「DHCP」で接続します。

◎「固定IP」接続を設定する場合は、ネットワーク管理者から指定されたIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイIPアドレスを併せて設定します。

◎特に指定がない場合は、「DHCP」接続に設定(出荷時の設定)します。

※これらの情報が不明な場合は、ネットワーク管理者におたずねください。

待ち受け画面から次の操作をすると、「固定IP」または「DHCP」を設定できます。

※設定完了後、待ち受け画面に戻ると、本製品を自動的に再起動して、設定内容が反映されます。

①  キーを短く押します。

1.情報
2.通話履歴
3.電話帳
選択 戻る

②  キーの▲▼を押して、[ネット設定]を選択します。

4.ネット設定
5.SIP設定
6.設定
選択 戻る

③  ボタンを短く押します。

1.モード
2.IPアドレス
3.サブネット
選択 戻る

④ もう1回、 ボタンを短く押します。

⑤  キーの▲▼を押して、接続方法(固定IP/DHCP)を選択します。

(例：固定IP)

[1]固定IP ☒
[2]DHCP
選択 戻る

⑥  ボタンを短く押します。
選択した接続方法に設定されます。

1.モード
2.IPアドレス
3.サブネット
選択 戻る

⑦ 手順⑥で「DHCP」を選択した場合は、手順⑬の操作をします。

「固定IP」の場合は、手順⑧に進みます。

⑧  キーの▲▼を押して、[IPアドレス]を選択します。

2.IPアドレス
3.サブネット
4.ゲートウェイ
選択 戻る

⑨  ボタンを短く押します。

⑩ IPアドレスを入力します。

入力を開始すると、初期値は消えます。

IPアドレス
192.168.0.1
OK Aa1@ 戻る

(2-11章)

次ページ
につづく

3 簡易中継サーバを登録する

3-3. 「ネット設定」メニュー(つづき)

- ⑪  ボタンを短く押します。

選択したIPアドレスに設定されます。

2.IPアドレス
3.サブネット
4.ゲートウェイ
選択 戻る

- ⑬  キーを2回押します。

- 再起動後、下記の表示に戻ります。

▽ 12:00	
ICOM	
登録済み	
メニュー	電話帳

- ⑫ [サブネット]と[ゲートウェイ]についても、手順⑧～⑪の操作を繰り返して入力します。

【本製品のIPアドレスを確認するには：この章で設定したIPアドレスの確認手順です。】

※下記は、前ページの操作で設定した本製品のIPアドレスを確認する手順です。

また、本製品を1対1(ピア ツー ピア)で使用する場合(※4-6章)には、電話帳の登録(※2-6章)で設定が必要な自分のIPアドレスを相手に伝えるときにも使用します。

- ①  キーを短く押します。

1.情報
2.通話履歴
3.電話帳
選択 戻る

- ④  ボタンを短く押します。

- 本製品のIPアドレスを表示します。

IPアドレス
192.168.0.6
OK 戻る

- ②  ボタンを短く押します。

- ③  キーの▼▲を押して、[IPアドレス]を選択します。

2.IPアドレス
3.MACアドレス
4.ファームウェア
選択 戻る

- ⑤  キーを3回押します。

- 下記の表示に戻ります。

▽ 12:00	
ICOM	
登録済み	
メニュー	電話帳

3-4. 「SIP設定」メニュー

本製品と無線で通信する簡易中継サーバ(弊社製VoIP対応無線ルータ)のLAN側IPアドレスを本製品に登録する手順について説明します。(※3-4-1.)

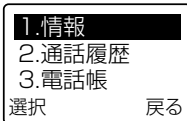
※設定完了後、待ち受け画面に戻すと、本製品を自動的に再起動して、設定内容が反映されます。

※SIP(Session Initiation Protocol)とは、ネットワーク上で音声通信のやりとりをするために必要なプロトコルです。

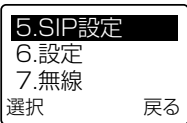
3-4-1. SIPサーバの設定

待ち受け画面から次の操作をすると、SIPサーバの設定ができます。

- ①  キーを短く押します。



- ②  キーの▲▼を押して、[SIP設定]を選択します。

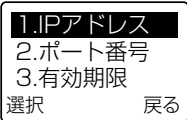


- ③  ボタンを短く押します。



- ④ もう1回、 ボタンを短く押します。

- ⑤  キーの▲▼を押して、[IPアドレス]を選択します。



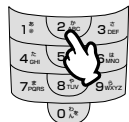
- ⑥  ボタンを短く押します。

- ⑦  キーの◀▶を押します。

変更したい数字の手前にカーソルを移動します。

入力しなおすときは、 キーを押した回数だけ、数字が消去できます。

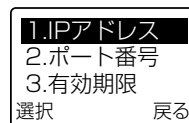
- ⑧ IPアドレスを入力します。



(設定例：192.168.0.1)



- ⑨  ボタンを短く押します。
入力したIPアドレスが設定されます。



- ⑩ [ポート番号]と[有効期限]についても、手順⑤～⑨と同じ操作を繰り返して設定します。

※[ポート番号]は、「5060(出荷時の設定)」でご使用ください。

- ⑪ 待ち受け画面に戻さないで、「ユーザーIDの設定」(※3-4-2.)をします。

3 簡易中継サーバを登録する

3-4. 「SIP設定」メニュー(つづき)

3-4-2. ユーザーIDの設定

「SIPサーバの設定」(☞3-4-1.)に続けて、簡易中継サーバ(弊社製VoIP対応無線ルータ)の「子機内線設定」項目に設定された「内線番号」と「パスワード」を、本製品の「電話番号」と「パスワード」として同じ内容に設定する手順について説明します。

※「パスワード」の指定がないときは、「電話番号」だけを設定します。

「パスワード」を指定されたときは、「電話番号」と「ユーザー名」を同じ内容に設定します。

- ①  キーを短く押します。

●下記の表示に戻ります。

1.SIPサーバ
2.ユーザーID
選択 戻る

- ②  キーの▲▼を押して、[ユーザーID]を選択します。

2.ユーザーID
1.SIPサーバ
選択 戻る

- ③  ボタンを短く押します。

1.電話番号
2.ユーザー名
3.パスワード
選択 戻る

- ④ もう1回、 ボタンを短く押します。

- ⑤  キーの◀▶を押します。

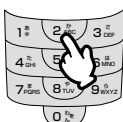
変更したい数字の手前にカーソルを移動します。

入力しなオすときは、 キーを押した回数だけ、数字が消去できます。

- ⑥ 電話番号を入力します。

電話番号
200
OK Aa1@ 戻る

(設定例：200)



- ⑦  ボタンを短く押します。

入力した電話番号が設定されます。

1.電話番号
2.ユーザー名
3.パスワード
選択 戻る

- ⑧「パスワード」の指定がないときは、次ページの手順⑪の操作をします。
指定されているときは、手順⑨に進みます。

- ⑨  キーの▲▼を押して、[ユーザー名]を選択します。

2.ユーザー名
3.パスワード
1.電話番号
選択 戻る

- ⑩  ボタンを短く押します。

- ⑪ ユーザー名として、手順⑥で設定した電話番号と同じ数字を入力します。

(設定例：200)

ユーザー名
200
OK Aa1@ 戻る

- ⑫  ボタンを短く押します。
入力したユーザー名が設定されます。

2.ユーザー名
3.パスワード
1.電話番号
選択 戻る

☞次ページ
につづく

3-4-2. ユーザーIDの設定(つづき)

- ⑬  キーの▲▼を押して、[パスワード]を選択します。

3.パスワード

1.電話番号

2.ユーザー名

選択 戻る

- ⑭  ボタンを短く押します。

- ⑮ パスワードを入力します。
(設定例：password)

パスワード

password

OK  a1@ 戻る

- ⑯  ボタンを短く押します。
入力したパスワードが設定されます。

3.パスワード

1.電話番号

2.ユーザー名

選択 戻る

- ⑰  キーを3回押します。
●再起動後、下記の表示に戻ります。

📶 12:00 📶

ICOM

登録済み

メニュー 電話帳

※正しく設定されていない場合、本製品の表示部に「未登録」と表示します。

※設定した[電話番号]の確認は、[IPアドレス](P38)と同様、「情報」メニューで確認できます。

ご参考に：「登録済み」と表示されていても？

本製品と接続された弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2)の簡易中継サーバ機能が「しない」に設定されているときは、「登録済み」を本製品の表示部に表示しますが使用できません。
「未登録」と表示されるのは、簡易中継サーバ機能が「する」に設定されているが、本製品と同じ電話番号、ユーザー名、パスワードが登録されていないときです。

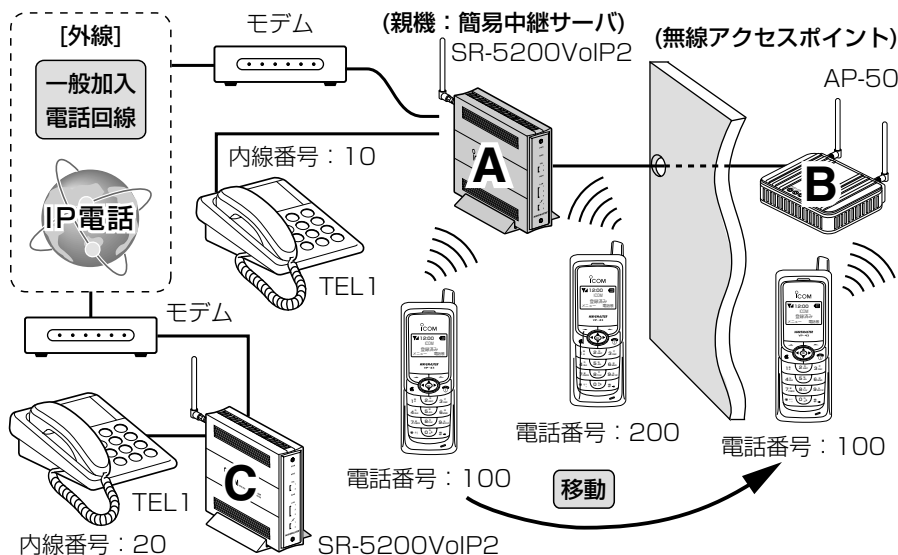
△注意 「SIP設定」メニュー(P3-4章)で設定された[電話番号]について

「SIP設定」メニューで設定する電話番号は、自分(本製品)の電話番号です。
自分の電話番号は、「電話帳」メニュー(P2-6章)に登録できません。
なお、「SIP設定」メニューで設定する電話番号が、すでに「電話帳」メニューに登録されている電話番号と同じ場合も登録できません。

3 簡易中継サーバを登録する

3-5. SR-5200VoIP2による構築と設定例

SR-5200VoIP2での使用を例に、簡易中継サーバの設定(下図：A)と、本製品を使用するための設定について、下記の図を使用して説明します。



下記の内容は、IP電話および無線LANネットワークを、SR-5200VoIP2(図：AとC)およびAP-50(図：B)に、あらかじめ設定されていれば、確認できる内容です。

本製品を導入する前に、下記の動作をご確認ください。

◎SR-5200VoIP2でご使用のファームウェアは、Ver.1.03以上でご使用ください。

◎SR-5200VoIP2の[TEL]ポートに接続した電話を使用して、一般加入電話回線への発信できることを確認します。

また、ご契約の商用IP電話接続業者などのSIPサーバをSR-5200VoIP2(図：AとC)に設定している場合は、そのSIPサーバへの発信と併せてご確認ください。

◎AP-50(図：B)などの弊社製無線アクセスポイントを、SR-5200VoIP2とLANで接続する場合は、AP-50の無線伝送エリア内から本製品を使用できます。

上図のように、本製品をAP-50とSR-5200VoIP2のあいだを移動して使用する場合、本製品と通信するすべての無線LAN機器は、[SSID]、[暗号化]を同じ設定であることを確認します。

◎本製品のIPアドレスは、DHCPサーバから取得するものとします。

また、AP-50とSR-5200VoIP2のIPアドレスは、ネットワーク部が同じLANで構成しているものとします。

◎無線アクセスポイント(AP-50など)を増設する場合、無線チャンネルは、SR-5200VoIP2と4チャンネル以上空けて設定されていることを、ご確認ください。

(※次ページにつづく)

〈設定のしかた：Step1〉

本製品の電話番号をSR-5200VoIP2 (P42の図：A)に設定(例：100、200)します。
設定は、「電話設定」メニューの「簡易サーバ」画面にあります。

※簡易中継サーバ機能を最初に設定して、〈登録〉ボタンをクリックしてください。

4. クリック → **登録** (簡易中継サーバ機能 再起動後に有効に)

1. クリック → **簡易中継サーバ設定** (簡易中継サーバ機能を使用 ☒ する)

2. 入力する → **デフォルト着信内線番号** (着信内線番号の指定がない[SIP URI]で着信してきたときの内線番号を設定できます。)

3. 入力する → **TEL1** (内線番号: 10) (SR-5200VoIP2の[TEL1]ポートに接続する電話機の内線番号です。)

TELポート内線設定		発信設定 (SIPサーバ)		(Peer to Peer)	
	内線番号	グループ番号			
TEL1	10		☒		☐
TEL2			☒		☐

〈 画 面 中 略 〉

9. クリック → **子機内線設定** (登録の追加)

5. 入力する → **番号** (2) (本製品の電話番号と同じ番号を[内線番号]欄に設定します。)

6. 入力する → **名前** (VP-43_B)

7. 入力する → **内線番号** (200)

8. 指定する → **グループ番号** ()

10. 確認する → **パスワード** (****) (パスワードを設定したときは、[内線番号]と同じ番号を本製品の[ユーザー名]に設定してください。)

発信設定 (SIPサーバ: ☒ Peer to Peer: ☒)

CGI認証 (ID: パスワード:)

現在の登録

	番号	名前	内線番号	グループ番号	発信設定 (SIPサーバ/Peer to Peer)	CGI認証 ID
編集 削除	1	VP-43_A_100			1 / 2	
編集 削除	2	VP-43_B_200			1 / 3	

次ページで、[SIPサーバ設定]項目および[Peer to Peer設定]項目で指定した番号に登録された[SIP URI](発信先)を使用します。

3 簡易中継サーバを登録する

3-5. SR-5200VoIP2の構築と設定例(つづき)

〈設定のしかた：Step2〉

本製品の[SIP URI]と[電話番号]をSR-5200VoIP2(※P42の図：A)に登録します。

設定は、「電話設定」メニューの「SIP」画面にあります。

※本製品に設定された電話番号(例：100)を[着信内線番号]欄に設定します。

◎[SIP URI]欄には、「sip:」を含めて次の書式で設定します。

「sip: 任意の英数字(内線番号)@SR-5200VoIP2(※図：A)のWAN側IPアドレス」

※指定のWAN側IPアドレスは、Peer to Peerによる外線への発信先です。

3. クリック

1. 入力する

2. 入力する

4. 確認する

Peer to Peer設定

登録の追加

番号

SIP URI

着信内線番号

現在の登録

	番号	SIP URI	着信内線番号
編集 削除	1	sip:sr5200@192.168.1.100	10
編集 削除	2	sip:100@192.168.1.100	100
編集 削除	3	sip:200@192.168.1.100	200

[番号：1]の登録は、[TEL1]ポートに接続する電話機の登録です。

前ページの[子機内線設定]項目にある[発信設定(Peer to Peer)]欄で指定されている発信先の番号です。

〈参考〉本製品からSIPサーバによる外線への発信は、あらかじめ下記の画面に設定されているSIPドメインを使用します。

SIPサーバ設定

登録の追加

番号

IP加入電話番号表示

SIPプロキシサーバ

SIPドメイン

アカウントID

IP加入電話パスワード

着信内線番号

サーバ発信プレフィクス 置換ダイヤル:

現在の登録

	番号	IP加入電話番号	SIPドメイン	着信内線番号	接続状況
編集 削除	1	05098765432	fusion.sip.0038.net	10	接続成功

確認する

〈設定のしかた：Step3〉

SR-5200VoIP2(☞P42の図：A)の電話帳に登録されている相手(☞図：C)の電話番号と[SIP URI]を、本製品の電話帳に登録します。

本書2-6章と同じ手順で本製品の電話帳に下記の内容を登録できます。

〈SR-5200VoIP2(図：A)の電話帳〉

現在の登録					
番号	名前	電話番号	SIP URI	発信先の選択	
編集 1	相手の固定電話	20	sip:sr5200@192.168.63.14	電話設定にあわせる	削除

本製品の[SIP URI]と[電話番号]をSR-5200VoIP2(☞P42の図：C)の電話帳に登録します。

◎「sip:」で始まる[SIP URI]欄には、次の書式で設定します。

「任意の英数字(内線番号)@SR-5200VoIP2(☞図：A)のWAN側IPアドレス」

〈SR-5200VoIP2(図：C)の電話帳〉

1. 入力する

登録の追加					
番号	名前	電話番号	SIP URI	発信先の選択	
2	VP-43_100	100	sip:100@192.168.63.14	電話設定にあわせる	追加

2. クリック

[番号：1]の登録は、
[TEL1]ポートに接続する
電話機の登録です。

現在の登録					
番号	名前	電話番号	SIP URI	発信先の選択	
1	図Aの固定電話	10	sip:sr5200@192.168.63.14	電話設定にあわせる	削除
編集 2	VP-43_100	100	sip:100@192.168.63.14	電話設定にあわせる	削除
編集 3	VP-43_200	200	sip:200@192.168.63.14	電話設定にあわせる	削除

3. 確認する

〈設定後の確認〉

- ① 本書43～45ページの設定が完了したら、本製品(VP-43)の電源を入れなおします。
 - 登録したすべての本製品の表示部に、「登録済み」を表示します。
- ② 「登録済み」表示が確認できたら、本製品どうしが内線通話できることを確認します。
- ③ SR-5200VoIP2(☞P42の図：C)に接続された電話機の内線番号(例：20)を、本製品からダイヤルして、通話を確認します。
- ④ 本製品からアナログ公衆電話回線にダイヤル(例：117)します。
SR-5200VoIP2(図：A)から発信できることを確認します。
- ⑤ ご契約の商用IP電話接続業者などをSR-5200VoIP2(☞P42の図：A)に設定している場合は、その回線を使用して発信できることを確認します。
- ⑥ SR-5200VoIP2(☞P42の図：C)に接続された電話機から、本製品の電話番号(例：100、200)をダイヤルして、本製品に着信することを確認します。



この章では、

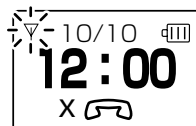
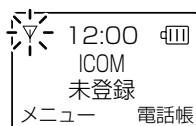
おもなトラブルの対処方法、本製品のWeb設定画面へのアクセスやペア ツー ピアでの使用方法、設定内容の初期化操作、定格などについて説明しています。

4-1.こんな表示が出るときは	48
4-2.イヤホンマイク(別売品：HM-156)の使いかた	50
4-3.表示部を英語表示に切り替える	51
4-4.設定を工場出荷時の状態に戻す	52
[A] メニューから「設定初期化」を選択する	52
[B] ネットワーク接続設定を初期化する	53
[C] 全設定を初期化する	53
4-5.Web設定画面へのアクセスについて	54
4-6.本製品を1対1(ピア ツー ピア)で使用するには	55
4-7.定格	56
■ 一般仕様	56
■ 無線部	56
■ 音声部	56
■ ネットワーク部	56
■ 急速充電アダプター(付属品)	56
4-8.故障のときは	57
4-9.バージョンアップについて	57

4 ご参考に

4-1. こんな表示が出るときは

電話機の設定や電波状態によって、次のように表示されます。



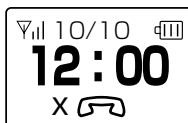
〈症状〉リンク失敗を表示/電波状況表示が点滅する
※本製品を再起動しても改善されないときは、下記の原因をお調べください。

〈原因1〉無線アクセスポイントと通信できていない

対処：通信できる場所に移動する

〈原因2〉無線アクセスポイントと暗号鍵(キー)の設定が異なる

対処：暗号鍵(キー)の設定を確認する



〈症状〉「未登録」および「×」を表示する(着信しない)

※1対1(ピアツーピア)接続でご使用の場合は、設定に関係なく、「未登録」および「×」を表示します。

着信しないときは、本書4-6章を参考に設定を確認してください。

〈原因1〉[電話番号]、および[パスワード]が設定されていない、または簡易中継サーバと異なる設定になっている

対処：本製品の設定(☞3-4章)および簡易中継サーバ側の設定を確認する

〈原因2〉簡易中継サーバと異なるIPアドレスが、本製品の[SIPサーバの設定](☞3-4-1章)に設定されている

対処：本製品の[SIPサーバ]項目に設定されたIPアドレス、または簡易中継サーバのLAN側IPアドレスを確認する

ご参考に：「登録済み」と表示されていても？

本製品と接続された弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2)の簡易中継サーバ機能が「しない」に設定されているときは、「登録済み」を本製品の表示部に表示しますが使用できません。

「未登録」と表示されるのは、簡易中継サーバ機能が「する」に設定されているが、本製品と同じ電話番号、ユーザー名、パスワードが登録されていないときです。

IP取得失敗
DHCPサーバから
ネットエラー！

▽ 12:00 電池
ICOM
DHCPエラー
メニュー 電話帳

▽ 10/10 電池
12:00
X 電話 X

〈症状〉 DHCPサーバからネットエラー!/DHCPエラー
を表示する

〈原因1〉 DHCPサーバが存在しない

対処：無線アクセスポイントと接続された
ネットワーク上にDHCPサーバの存
在、またはサーバまでの経路を確認
する

〈原因2〉 「ネット設定」メニュー(☎3-3章)にある[モ
ード]設定が、「DHCP」になっている

対処：DHCPサーバを使用しない場合は、
[モード]設定を「固定IP」にする

▽ 12:00 電池
不在着信2回
未登録
メニュー 電話帳

〈症状〉 「不在着信×回(×：回数)」表示を消去できない

〈原因〉 相手からの着信に対して、電話を受けられな
かった

対処：[通話]キー→[電源/通話終了]キーの
順番で短く押す

※[通話]キーを短く押したとき、相手
の電話番号を確認できますので、そ
の履歴を利用して電話できます。

バッテリー減少
停止します

〈症状〉 電源が入らない

〈原因〉 電池の残量不足

対処：急速充電アダプターを接続する

4 ご参考に

4-2. イヤホンマイク(別売品：HM-156)の使いかた

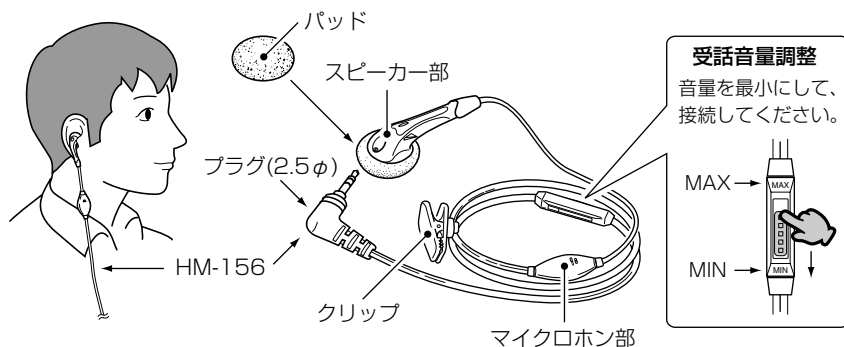
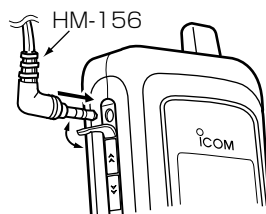
イヤホンマイク(別売品)を接続すると、着信後、自動的に通話状態になるため、本製品に手をふれないで電話を受けられます。

〈接続の手順〉

接続の手順を守らないと、大きな音量が出たとき、耳に障害を与える原因になります。

- ①HM-156に付属のパッドをスピーカー部に付けます。
- ②下図のように、イヤホンマイクの受話音量調整ボリュームで、音量を最小(MIN)の位置に調整します。
- ③[イヤホンマイク]ジャックの根元まで、イヤホンマイクのプラグを挿入します。

※根元まで挿入していないと、正常に機能しません。



△警告：下記の事項を守らないと、耳に障害を与える原因になります。

- 大きな音量でイヤホンマイク(別売品)などを使用しないでください。
- 異音が出ることがありますので、イヤホンマイクなどを耳に当てた状態で、取り付けや取りはずしをしないでください。
- 本製品の受話器(スピーカー)とHM-156では、音量が異なりますので、あらかじめ受話音量(保留音量を含む)を、電話機側面の[アップ/ダウン]キー、またはHM-156側の受話音量調整で最小にしてから聞こえやすい音量にセットしてご使用ください。

△注意：設定初期化中(※4-4章)は、イヤホンマイクを抜き差ししないでください。

イヤホンマイク(別売品)を設定初期化中に抜き差しすると、「設定」メニューの項目を正しく表示できないことがあります。

4-3. 表示部を英語表示に切り替える

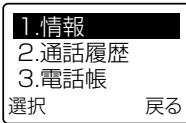
電話機の表示部に表示される言語を日本語、または英語に切り替えられます。

※出荷時は、「日本語」に設定されています。

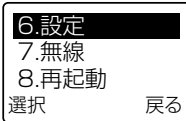
※日本語(出荷時の設定)表示でのご使用をおすすめします。

待ち受け画面から次の操作をすると、設定できます。

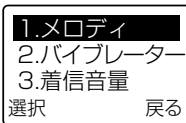
- ①  キーを短く押します。



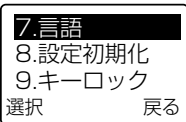
- ②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



- ③  ボタンを短く押します。

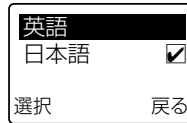


- ④  キーの▲▼を押して、[言語]を選択します。

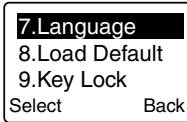


- ⑤  ボタンを短く押します。

- ⑥  キーの▲▼を押して、「英語」を選択します。



- ⑦  ボタンを短く押します。
表示言語が英語に設定されます。



- ⑧  キーを2回押します。
● 英語表示に切り替わります。



4 ご参考に

4-4. 設定を工場出荷時の状態に戻す

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す(初期化する)には、操作や初期化範囲の違いで、次の3とおりから選択できます。

- Ⓐ メニューから「設定初期化」を選択する
- Ⓑ ネットワーク接続設定を初期化する(※P53)
- Ⓒ 全設定を初期化する(※P53)

※イヤホンマイクを設定初期化中に抜き差ししないでください。

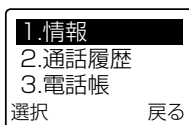
設定初期化中の抜き差しは、メニューの各項目を正しく表示できないことがあります。

Ⓐ メニューから「設定初期化」を選択する

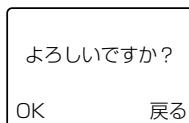
「設定」メニューと「SIP設定」メニューの全項目を初期化します。

待ち受け画面から次の操作をすると、初期化できます。

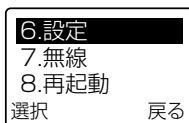
①  キーを短く押します。



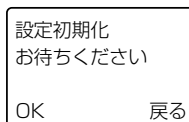
⑤  ボタンを2回押します。



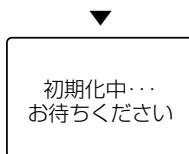
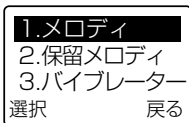
②  キーの▲▼を押して、[設定]を選択します。



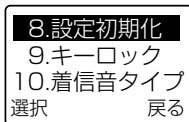
⑥ 初期化が開始されます。



③  ボタンを短く押します。



④  キーの▲▼を押して、[設定初期化]を選択します。



⑦ 初期化を完了して、下記の画面を表示します。



㊦ ネットワーク接続設定を初期化する

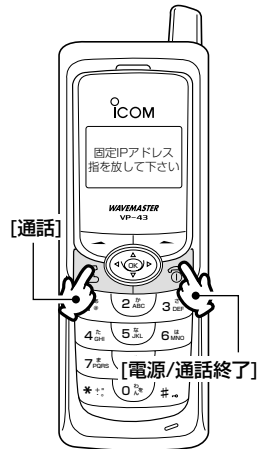
本製品の「ネット設定」メニューにある設定項目だけを、下記の値に初期化します。

- モード : 「固定IP」
- IPアドレス : 「192.168.0.100」
- サブネット : 「255.255.255.0」
- ゲートウェイ : 「192.168.0.1」

〈操作のしかた〉

- ①本製品の電源を切ります。
- ②[通話]キーを押しながら、[電源/通話終了]キーを押します。
- ③電源が入ったら、[電源/通話終了]キーから手をはなします。
- ④右の画面が表示されたら、[通話]キーから手をはなします。
 - ネットワーク接続設定を初期化後、待ち受け画面を表示します。

固定IPアドレス
指を離して下さい



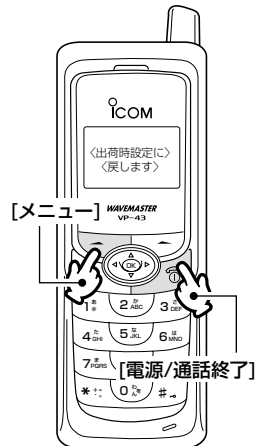
㊦ 全設定を初期化する

※全設定を初期化すると、本製品のIPアドレスは、DHCPサーバから自動取得するように設定されます。

〈操作のしかた〉

- ①本製品の電源を切ります。
- ②[メニュー]キーを押しながら、[電源/通話終了]キーを押します。
- ③電源が入ったら、[電源/通話終了]キーから手をはなします。
- ④右上の画面が表示されたら、[メニュー]キーから手をはなします。
 - 待ち受け画面を表示後、自動的に設定を初期化して再起動します。

〈出荷時設定に〉
〈戻します〉



4 ご参考に

4-5. Web設定画面へのアクセスについて

本製品と同じネットワーク上のパソコンから本製品の設定画面にアクセスできます。

※電話機本体ではできない詳細な設定をするときに使用してください。

※ご使用になるWWWブラウザの文字サイズは、「中」でご使用ください。

「中」以外に設定されていると、表示が崩れる場合があります。

※パソコンのWWWブラウザは、Microsoft Internet Explorer6.0以降をご用意ください。

本書では、Internet Explorer6.0を使用して説明しています。

〈設定画面の呼び出し〉

下記の操作で設定画面を呼び出すときは、あらかじめ本書3-2章の設定が必要です。

- ①パソコンを無線アクセスポイントに接続します。
- ②本製品を無線アクセスポイントに接続します。
- ③パソコンのWWWブラウザを起動します。
- ④DHCPサーバから取得した本製品のIPアドレスを、WWWブラウザのアドレスバーに入力(例: http://192.168.0.10/)し、[Enter]キーを押します。
 - [ユーザー名(U):]と[パスワード(P):]を求める画面を表示します。
- ⑤「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、〈OK〉をクリックします。

●「情報」メニュー内の画面を最初に表示します。

※ユーザー名とパスワードには、「管理者用」と「一般利用者用」があります。

一般利用者用は、本製品を設定できる範囲が制限されます。

出荷時や全設定初期化時は、下記のように設定されています。

導入後は、下記の設定を変更してご使用になることをおすすめします。

「管理者用」 ユーザー名: icomadmin パスワード: admin

「一般利用者用」 ユーザー名: user パスワード: 1111



4-6. 本製品を1対1(ピア ツー ピア)で使用するには

SR-5200VoIP2などの簡易中継サーバを使用しない無線アクセスポイントでの通信形態(ピア ツー ピア)について説明します。

Step1.無線LANの設定：「無線」メニュー

■ 本製品どうしが無線アクセスポイントを中継して1対1で通話するときは、本書3-2章の内容にしたがって、無線LANの設定をします。

※本製品を1台の無線アクセスポイントに収容できる推奨台数は、6台までです。

Step2.ネットワーク接続設定：「ネット設定」メニュー

無線アクセスポイントのDHCPサーバを使用するときは、「DHCP」を設定します。

DHCPサーバを使用しないときは、「固定IP」を設定します。

■ 固定IPアドレスを設定するときは、下記のことを注意してください。

◎同一ネットワークグループ内におけるすべての本製品のIPアドレスは、重複しないように設定してください。

◎同一ネットワークグループ内におけるすべての本製品のサブネットマスクは、同じ値を設定してください。

◎小規模なネットワークでご使用になる場合は、プライベートアドレスとして192.168.0.0～192.168.255.255の範囲を使用します。

なお、192.168.×××.0(ネットワークアドレス)と192.168.×××.255(ブロードキャストアドレス)は、特別なアドレスとして扱われますので、本製品に設定しないでください。(×××：0～255)

[例：] 下記は、本製品3台でピア ツー ピアネットワークを構成するときの例です。

※使用する無線アクセスポイントのIPアドレスは、「192.168.0.1」とします。

電話機 A：192.168.0.10(サブネットマスク：255.255.255.0)

電話機 B：192.168.0.11(サブネットマスク：255.255.255.0)

電話機 C：192.168.0.12(サブネットマスク：255.255.255.0)

Step3.ユーザーIDの設定：「SIP設定」メニュー

本製品で使用する電話番号を本製品に登録します。

◎「ユーザーIDの設定」(☞3-4-2章)を参考に、[電話番号]だけを設定します。

「SIPサーバの設定」(☞3-4-1章)は、必要はありません。

Step4.電話帳の登録：「電話帳」メニュー

通話相手を互いの電話帳に登録するまで通話できません。

◎次の内容に注意しながら、本書2-6章の操作を参考に登録します。

[ホストIP]は、通話相手の電話機が使用するIPアドレスを設定します。

※3-4-2章で登録した電話番号は、電話帳に登録できません。

4 ご参考に

4-7. 定格

■ 一般仕様

- バ ッ テ リ ー パ ッ ク : リチウムイオン(DC3.7V 1350mAh)
- 使 用 環 境 : 温度0～+40℃、湿度20～85%(結露しないこと)
- 外 形 寸 法 : 46(W)×127(H)×21(D)mm(突起物を除く)
- 重 量 : 約110g(バッテリーパックを含む)
- 適 合 規 格 : クラスB情報技術装置(VCCI)
- 連 続 通 話 時 間 : 約3時間*
- 連 続 待 受 け 時 間 : 約20時間*
 - ※無線アクセスポイントの[DTIM間隔]を「2」に設定時
 - ※バッテリーパックの充電状態や機能設定状況(DTIM間隔)、ご利用場所の環境(温度/湿度)や電波状況(電波状況表示<※P3>の点滅状態)などにより、運用時間が短くなることがあります。
 - ※連続待ち受け時間とは、電波状況表示が点滅(※P3)しない範囲(無線伝送可能領域)で使用したときの目安です。
- 液 晶 デ ィ ス プ レ イ : ドットグラフィック表示(白黒112×64)
- 文 字 入 力 : 日本語(ひらがな/カタカナ/漢字)、英語、数字、記号

■ 無線部

- 国 際 規 格 : IEEE802.11/IEEE802.11b準拠
- 国 内 規 格 : RCR STD-33/ARIB STD-T66
- 最 大 伝 送 距 離 : 約30m(室内:見通し)
約70m(オープンスペース)
- 使 用 周 波 数 範 囲 : 2400～2497MHz
- チ ャ ン ネ ル 数 : 全14ch
- 通 信 速 度 : 自動、11/5.5/2/1Mbps
- 送 信 出 力 : 10mW/MHz以下
- セ キ ュ リ テ ィ ー : WEP(RC4) : 64(40)/128(104)ビット

■ 音声部

- プ ロ ト コ ル : SIP(RFC3261)、SDP(RFC2327)、
RTP(RFC1889)、RTCP(RFC1890)
- コ ー デ ッ ク : G.711、G.729a

■ ネットワーク部

- プ ロ ト コ ル : HTTP、TCP、UDP、ARP、ICMP

■ 急速充電アダプター(付属品)

- 入 力 電 圧 : AC100V(50/60Hz)
- 出 力 電 圧 : DC5V
- 容 量 : 1.5A 7.5W
- 使 用 環 境 : 温度+10～+40℃、湿度20～85%(結露しないこと)

4-8. 故障のときは

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたします
ので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●修理を依頼されるとき

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品と弊社製VoIP対応無線ルータ(SR-5200VoIP2など)の設定をお調べいただき、それでも具合の悪いときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●アフターサービスについてわからないときは

お買い上げの販売店または弊社各営業所サービス係にお問い合わせください。

4-9. バージョンアップについて

本製品に付属のCDに収録された取扱説明書[Web設定編]をご覧ください。

本製品で使用されているファームウェアのバージョンアップをするときの操作手順や注意事項が記載されています。

※ファームウェアは、本製品を動作させるために、出荷時から本製品のフラッシュメモリーに書き込まれているプログラムです。

高品質がテーマです。

アイコム株式会社

本 社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	108-0022	東京都港区海岸3-3-18	TEL 03-3455-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。